京城日報

朝刊と合せて十二頁

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢(郵送料共) 廣告料 五號活字一行金七拾錢 ▲特別 一行金壹圓 ▲案内 一行金四拾錢

發行兼編輯人 印刷人 京城太平通一丁目 發行所 合名會社 京城日報社 電話(編輯用)長二四五番 二二一番 (營業用)二二六番 京城二〇〇〇番

市場彙聞

[illegible]大阪よりの入電[illegible]高值引下て六十三圓と上伸し三錢と設合を告げたり △四日前場 中限(三)八圓六十九錢(三)

▲前場の商戰

(三)四千石(四)二千三百石賣今三千六百石賣三百石買

[illegible]なるも下寄時引返しの入電にて(三)今(二)回寄其他の賣にて五十八錢と押したるも(④)より割りたる買物顯はれたると云ふ其他より買向ひ新大阪跡

是が原因とも見るべき者は[illegible]る一部は投げ退きたるも大體に於ては依然買摂り居るより月末の關係上利喰賣多く之に向つて朝の話少より

▲大阪出直り手

[illegible]

各地商況

仁川米豆取引所

四日の十一月限

寄付 三十八圓六十五錢 八、六五 一安
二節 三十八圓六十三錢 八、六三 一安
四節 三十八圓六十錢 八、六〇 三安
五節 三十八圓五十五錢 八、五五 三高

止め 高値 安値

段 買 賣 取組高

殿下總督府へ御成

總督以下事務の言上を聞し召さる

四日は閑院宮殿下の總督府に台臨あらせらるゝ日とて本府並に京龍間各所屬官署高等官、東拓、朝鮮銀行各代表者等四百餘名は午前九時三十分總督府第二會議室に參集、府内を淸め御道筋を淨めて只管御成を待ち奉る斯くて時移るや殿下には供奉の諸員を隨へ給ひ九時五十分といふに御到着あり、河野、山縣政務總監等表玄關に奉迎し寺内總督の御先導にて會議室に設けの卓に着かせ給ふ、茲に於て寺内總督は謹んで總督府始政五年間に於ける事務の概況を言上し、更に本府並に所屬官署各長官等は左記の順序に依りて所管職員數並に事務に就き言上しまつる

朝鮮總督府内務部長官 宇佐美勝夫
朝鮮總督府度支部長官 荒井賢太郎
朝鮮總督府農商工部長官代理事務官 上林敬次郎
朝鮮總督府司法部長官 國分三亥
朝鮮總督府中樞院書記官長 小松綠
朝鮮總督府鐵道局長官工學博士 大屋權平
朝鮮總督府遞信局長官 池田十三郎
高等法院長 渡邊暢
京城覆審法院長 城數馬
同檢事長 中村竹藏
京城地方法院長 鳥山虎也太
同檢事長 松寺竹雄
朝鮮總督府警務總長陸軍中將 立花小一郎
朝鮮總督府臨時土地調査局長代理事務官 和田一郎
京畿道長官 檜垣直右
東洋拓殖株式會社總裁代理理事 林市藏
朝鮮銀行總裁代理理事 水越理庸

十時十分一同の言上を終れば殿下には御座を起たせられ寺内總督、河野農相、山縣政務總監、井口、石塚、川村秘書官、古海、小田、野田兩事務官、立花警務總長、參謀長等扈從し奉りて總督の後、御休憩室其他を台覧あらせられ殿下と共に御待ち受けし妃殿下には御茶菓を召され暫し御休憩の後、御道筋を御遊覧、市内を御巡覧、總督並に同夫人の御說明を御聽取あり十時三十分といふに總督邸を御出門一同恭しく御見送り申上げ兩殿下には京城中學校に向はせ給へり

▲中學校に台臨

實地授業の台覧

閑院宮同妃殿下には四日京城中學校に台臨あらせられたも是れより先き京城中學校の門内には職員生徒一同整列して御着を待つ程もなく十一時二十五分を報ずる頃に兩殿下には御機嫌麗しく寺内總督其他の各供奉文武官を隨へさせられ御着關屋學務局長御先導申上げ講堂に御休憩の後同所に於て左の十六人に對し謁を賜ひたり

朝鮮總督府事務官 小田省吾
同 弓削幸太郎
京城女子高等普通學校長兼朝鮮總督府視學官 太田秀穗
京城中學校長 柴崎鐵吉
京城高等普通學校長 岡元輔
京城中學校教諭 隈本幸太郎
朝鮮總督府醫院醫官 立柄教俊
同 上田駿一郎
京城高等普通學校教諭 高橋亨
京城女子高等普通學校教諭 西澤勇志智
朝鮮總督府視學官 秋山鐵太郎
京城公立高等女學校長 成田忠良
同 教諭 佐々木恵祐
京城醫學校教諭 稲田陵次
私立善隣商業學校長 佐藤[illegible]
同 教諭 木宿[illegible]

當日中學校内八個の教室には兩殿下の台覧に供し奉る可き左記の實地授業あり、關屋學務局長御先導申上げ寺内總督同夫人其他の人々之れに隨ひ參らせたり

京城女子高等普通學校附屬普通學校第一學年 朝鮮語教師 [illegible]
京城女子高等普通學校本科第三學年 裁縫 [illegible]子
京城高等普通學校附屬普通學校第四學年 算術教諭 山口喜一郎
京城高等普通學校本科第四學年 國語教諭 高橋亨
京城公立高等女學校第四學年 音樂教諭 竹村鼎
京城中學校第五學年武道柔道 教員 松井松次郎
同校第三學年體操 同教師 岡村正道

行御覧中にも可愛らしき鮮人兒童の遊戲などには兩殿下共御微笑を洩し給ひつゝ更らに雨天體操場内の撃劍柔道及び體操等を順次御覽遊され御徒歩にて興化門内の中學校體操場には京城内の官公私立學校八十三校其數一萬五千人の生徒三百の職員容儀を正して殿下の御着を御奉迎申上げたり、殿下の御著を待ち一同最敬禮、樂隊の奏樂に伴れて君が代を二唱太田視學官の發聲に天皇陛下の萬歳を三唱し奉る樂器の聲、歡呼の聲は山を搖して勇ましく慶熙の宮墻又人を以て埋る、此日滿天曇れども雨を催さず絶好の日和にして一人の病者も出さず零時十分殿下には御機嫌麗しく御退出あらせられたり

南大門驛頭の諸名士

四日朝何れも北行す

四日朝の南大門驛は三井男の一行から滿鐵總裁中村雄次郎男、興業銀行總裁志立鐵次郎氏、仙石貢氏等の退京といふので非常な混雜であつた、先づ一等貴賓室に入つて

▲中村滿鐵總裁

を訪ふと背廣の襟を叩いて白い口髭を捻り乍ら「イヤどうも大變な賑ひですね、私は明治四十二年に一度來て見た許りで夫れからは何時も素通りでしたが今度來て見ると進歩發達の狀は事行に驚く許りです、何といつても此處は純然たる日本の國だから滿洲などは到底も及びません大連の市街が立派だといふが彼れは露西亞の古物で此地の樣に自然の要求に依つて立派になつたのでないから一向詰らない共進會も見物しましたが實によく出來てゐます滿洲でも何か行らねばとか云つてゐる樣ですがあれは新聞で極めてゐる樣でまだ纏つた譯では無い樣です滿洲の物産は共進會といつても滿洲のですからねどうも仕方がない

▲志立興銀總裁

が後を受けて「共進會は却々立派に出來てゐる、朝鮮第一回の催しとしては非常の成功です、殊に寄贈品なども誠に結構な思ひ付きです、然し出品人本人向きとしては理想的だが朝鮮人に取つては如何でせう、統計など隨分多い樣だから一寸判り難い處があるかとも思はれる、僕等はたゞ見物して廻つて開して諸所で御馳走を受けた許りで内容に就いては一つも研究をしてゐませんから殘念だがお話しする材料がありません、僕は之れから平壤に寄つて滿洲方面を廻ろうと思ひます、御社の家庭博は大變な成功ですね、折角御案内を受けたが遂に拜見する機會を得なかつたのは殘念でした」次いで

▲仙石工學博士

に敬意を表すると默々としてソツプに倚つてゐた博士は徐に口を開き「自分が嘗て朝鮮に來たのは二十年も以前の事だから恍として夢の如く今日では何物も殆んど記憶に殘つてをらない、名物相撲ふか否かは自分には判らぬが嘗て記憶に現はれた朝鮮は君、大に發達してゐる、共進會も立派だ、市街も頗る美しくなつてゐる、緩りと見物したかつたが之れから滿洲へ行かなくてはならぬので滯在の暇がないのです」之れから後に同行の一人一人の態度に從ひて安奉線の勝景を說き木綿の谷邑を語つて接待役の三木商業課長に應接の暇を與へない

▲三井男爵一行

は發車時刻が迫つてゐるので三井男一行を去つて第一號室に行くと三井男一行は何れも早や椅子を立つて之れから繰り出さうといふ所である匆惶刺を通じて挨拶に記者と知るや男は眼鏡を直して名刺を見ながら「如何も御苦勞で御座います、之れから鎭南浦と滿州の方へ見物に行きます、阿部社長に宜しく御傳へ下さい、其内歸つて參ります」と暫くして引下らうとすると福井理事が「私は福井です、先日は阿部社長がお訪ね下つて難有う御座いました如何か宜しく仰やつて下さい、一行は六日に歸つてまた御厄介になります」斯くて一同は相前後して貴賓室を出で志村總裁は食堂前面の一等車へ、中村總裁、仙石博士は食堂後部に貸切の札を掛けた一等車へ、三井男一行は更に其後部の一等車に搭乗夫れ〳〵多數の見送人に會釋して九時十分北を指して出發した

奉送入場者

停車場入場者

五日午前七時三十分閑院宮殿下奉送の際龍山停車場プラットホームに入り得る者は文武高等官同夫人朝鮮貴族同夫人赤十字役員愛國婦人會各役

市原總裁陞敍

京城協贊會社重役並に貴東拓、鮮銀、郵船會の重なるものなりと

市原朝鮮銀行總裁病氣危篤の趣き天聽に達するや特旨を以て左の御沙汰ありたる旨某所に通達ありたり

朝鮮銀行總裁 市原盛宏

陞敍從五位授勳三等

諸名士招待會

京城協贊會

京城協贊會にては目下入京中なる朝鮮の名士百餘名を四日午前十時より朝鮮ホテルに招待せるが主人側よりは吉原會長原田通副會長井上理事長其他重役出席接待に當り午前十一時餘興の吉備樂小楠公演奏の箏を觀覽に供せる上正午食堂を開始し吉原會長一場の挨拶をなし之に對し來賓代表者の謝辭あり李王職音樂隊の奏樂裡に主客歡を盡して散會せるは午後一時なりき

熊本縣教育團

熊本縣教育團三十六名は滿洲視察を終へ去二日朝入京共進會、昌德宮秘苑等を觀覽し京城に於ける教育狀況に付視察する處あり四日は午後五時より教育倶樂部に於て茶菓の饗あり五日龍山の模範農場視察の上歸熊の途に就く筈なりと

小松原氏來朝

十日午前十時京城ホテルに於て開催の東洋協會朝鮮支部大會に出席し兼ねて共進會及び鮮内各地視察の筈なる小松原本會長は五日午後九時南大門發汽車にて入京 巴城館に投宿の旨其筋の通報あり尚ほ東洋協會本部員七十餘名は共進會見物並に地方視察の爲め近々入京す可しと

人事消息

▲兒玉常雄氏(總督府技手) 三日入京
▲中里德太郎氏(水產大會出席員) 同上
▲森井左衛門氏 同上
▲新見新助氏 同上
▲伊藤久之助氏 同上
▲西川喜助氏(木浦技師) 同上
▲原田助氏(同志社々長) 市原氏見舞のため六日夜南大門著にて入京の筈
▲網島嘉吉氏(牧師) 同上
▲中村哲嘉氏(海軍少將太平生命保險社長) 六日入京の筈
▲內野五郎氏(實業家) 同上
▲仙石貢氏(工學博士) 四日朝出發滿洲視察の途に就く
▲三井八郎右衛門男一行 同上鎭南浦滿洲視察
▲中村雄次郎氏(滿鐵總裁) 同上歸任
▲改野耕三氏(代議士) 四日朝歸任
▲志立興銀總裁 同上滿洲視察
▲田原禎次郎氏(滿日主筆) 四日入京

▲田村鎭氏(陸軍省技師) 三日入京四國屋旅館へ
▲若山善太郎氏(陸軍少佐) 同上
▲溝口直亮氏(同砲兵少佐) 同上
▲池田常道氏(大毎記者) 同山本旅館へ投宿
▲室木彌次郎氏(衆議院議員) 同上
▲吉野瞬至氏(江陵慈惠醫院長) 同旭旅館へ
▲福田武一郎氏(江陵支廳判事) 同上
▲大戸復三郎氏(朝鮮企業會社取締役) 入京中の處三日出發
▲天野久三郎氏(釜山稅關長) 同釜山へ
▲赤阪辰三郎氏(慶州憲兵隊長) 三日出發
▲鎌田三郎氏(慶州支廳判事) 同上
▲渡邊仁平氏(同判事) 同上
▲藤本永吉氏(木浦地方法院判事) 同上
▲森井涛氏(京城地方法院判事) 同上
▲松尾孝憲氏(光州地方法院判事) 同上
▲木村雅太郎氏(同覆審法院檢事) 同上
▲富永義道氏(同判事) 同上
▲長野一郎氏(同上) 同上
▲豐田明毅氏(同支配人) 元山より歸京
▲大倉喜七郎氏 三日釜山着歸へ

籌安會に爆彈裝置

危ない處で發見=當局者の大狼狽

一日武昌教育會に於て籌安會を開き將に開會せんとする際爆彈の裝置あるを發見されたり幸に大事に至らざるも當局者は色を失ひ狼狽し居れり(北京特電)

南言北語

南に奔つて佛軍を、英佛軍は益々勝利を博し敵陣を破り獨軍の第二陣をも突破し居る▲而して空中戰隊は獨軍の鐵道を破壞した▲此の數日間の大激戰で佛の殖民地軍指揮官マルシヤン將軍は重傷を負ひ▲チヤンペーニユで戰死した▲殖民軍の勇猛な佛領西弗利加軍は自ら軍と云へば避けない▲將軍は赤い指揮杖を振つゝ部下を叱咤して居た相な其の勇ましさ▲旅順の柳樹屯で汽車に赤十字旗を樹てゝ我軍の目を眩まして豫定の退却をやつたクロパトキン將軍も擲彈歩兵軍團長として出陣した▲豫定の退却と云ふ樣な妙な事が出來る將軍が出るなんて妙に聞える▲英佛の司令官フレンチ將軍は敵を破らずんば戰死せよと命令した▲獨帝は敵が勝つたならお前達の責任を問ふぞと申し付けて最ふ二三將軍を革職した▲敵味方共に此の方面で最後の大決戰をやる積りだらう▲京城でも今度の共進會中は大分名士の來客があつたが今度の樣に打ち揃うて來た事はない▲其處で各旅館は大繁昌だがお客樣の窮屈と來たら此の上もない▲千住の旅行ならば下へも置かぬ程のお扱ひに過ふ連中だから其窮屈さと來たら一層だ▲大兵樓へ泊まつた中橋德五郞君は之れにちやや切れぬとて鳥渡元山視察と出かけて來た▲村井吉兵衛君はお伴の三人連れで六疊位の座敷で大に閉口して居る▲稲野府尹と若松府尹は巴城館の裏の暗い室に恐縮し▲釜山の迫間、香椎君等の五人連は同館の階下宴會場を三ツに仕切つた一室に這入つてイヤ何うも之れは初めてだと煙草をふかして居た▲淸光館に泊つた坂井中將、內田中將、山內男は續々の投宿者に恐れ入つて一室に▲斯うなつては仕方がない互に一室にならうではないかと三人が同居したので▲此の樣な思いやりのある殿樣連はないと退却が頗る有利になつて大持てだ相な

告 在鄕軍人會正會員
閑院大將宮殿下明五日午前七時半龍山驛御發ニ付同七時同驛前分會旗ノ許ニ集合奉送セラルベシ
大正四年十月四日
帝國在鄕軍人會京城分會

小松原校長 本月五日午後九時南大門着列車にて御來城相成候此段御通知申上候也 朝鮮支部大會は十月十日東洋協會朝鮮支部に於て開催の筈に付各位には十一日午後出迎へて御知らせ申上候
東洋協會植民專門學校同窓會朝鮮支部

朝鮮語 高等科 初等科 生徒募集 三ヶ月修業 十月四日開始 入學 教師出席
英語 各級補缺生徒募集 南大門通一丁目 青年會

小賣 及 卸
(京城本町二丁目 電話2330 振替2669 名物 四ツ門 日韓堂)

習字の速進法
ならひてはやくよくできるしかた
◎本會は新案の大家日高秩父先生の案に成る新式習字法を普及せんとす◎會習字法は根本的に正しき字型と運筆法を敎へ功果永久的にして僅々六ヶ月にて楷行草の三體を自得せしむる最良の習字法也
毎月一回十五日發行
會員諸君に對して會員の所感 ◎習字帖に就て 會員奨勵法あり
近頃光榮ある貴會に入會致した者で新式習字帖を受取つて見れば實によき習字帖で今さらながら文字の組立字劃の配置がよく分かるのを感じました、そして毎日練習して居りますが非常に能く分かりますこれ貴會の御陰と感謝して居ります(廣島奥村某)
見本 會則 つき 電話又は葉書にて御申込み次第に進呈
東京神田駿河臺鈴木町(電話本局四八八四番)
大日本書字速進會

代表的英語雜誌の特別號
中學四年五年及卒業程度の理想的 英語研究
▼常に一頭地を抜き英語雜誌界を潤歩す ▼記事清新、說明懇切、本誌の右に出づるものなし ▼試に一册を手にせよ無限の快味を忘るゝ能はざるべし
毎月一日發行 定價本號に限り十五錢送料 一錢一ヶ年分 送料共一圓四十錢特別號共
中學二年三年程度「ABC」研究の問題 中等英語
▼全紙趣味と實益に滿ち而も整然として統一あり ▼親切は本誌の特色にして進歩的な氣持よし ▼本誌讀者の英語力は破竹の勢を以て上進す
毎月一日發行 定價本號に限り十五錢送料 一錢一ヶ年分 送料共一圓四十錢特別號共
中學一年程度ABCより研究する ABC
▼記事面白く挿畫多く何人も知らず知らず英語に上達す ▼眞にABCも一ツ知らぬ諸君も樂々と英學を學べるは是 ▼日本に唯一ツしかない此美しい愉快な英語雜誌を見よ
毎月一回一日發行定價十錢 送料一錢一ケ年分一圓十錢一錢より取扱あり
見本進呈 往復端書にて申込あれ 東京麹町區富士見町 振替口座一八二三六 英語研究社

始政五年記念繪葉書
十數度刷コロタイプ印刷 頗美麗ブック入三枚一組 定價金十五錢 郵稅二錢
發行所 京城本町一丁目 日韓書房 電話一四五番 振替一二五番

朝鮮新聞社發行

李王家博物館藏品謹寫(再版)
朝鮮國寶大觀
製本頗美麗大和綴 大判金屬版印刷鮮明 五百部限 特價金貳圓
初版發行以來大高評を博せし本書は今回共進會を機として再版印刷特に減價二圓以て販賣す部數に限りあれば賣盡さゞる内に御購求あれ

電機學校 生徒募集
東京市神田區錦町三丁目 授業開始十月十一日 滿員後は謝絶補欠募集せず 規則書無料送付郵券要せず

俳句 改卷特別號 本號(倍號)に限り定價一部金五十錢郵稅二錢五厘 東京牛込區船河原町十二ホトトギス社 振二三五〇三
◎俄醫者…中村星湖 ◎同棲して…尾上伊三郎 ◎途上…三ヶ島葭子 ◎散心…虚子選 ◎雨の千葉=八幡宿 ◎進むべき俳句の道…高濱虚子
◎子規の追憶…左衛門 ◎一二句評… ◎帝劇九月評… ◎寫生の目的… ◎子規の句說義… ◎雜詠…虚子 ◎十一篇 ◎募集句 ◎子規忌句會 ◎百穗、鶏兒、石鼎等

新女子大學通信教育會編 家政講義 大倉全六卷 會員募集
○學科○修身敎育心理法制經濟衛生家事作法料理裁縫生花園藝其他○入會金免除○會則見本無代進呈
東京小石川目白臺女子大學通信教育會
京城鍾路 精美堂出版部

閑院宮兩殿下御精勵

愛國婦人會第一部長 三橋勝利氏謹話

閑院宮兩殿下今度の御旅行は、畏き邊からの特別な思召しで、始政五年記念朝鮮物産共進會開催に際し産業奬勵の御意味でその開會式に御差遣に相成つた譯でありまして、私共は御隨行といふのではなく、恰度その御差遣の御旅程中に赤十字と愛國婦人會の朝鮮本部總會が開かれて、兩總裁殿下にも御台臨遊ばされるといふ事に成つたのであります。此機會に李王殿下首め朝鮮の王公族の方々とも御會見の儀がありまして、日本皇族と朝鮮の王族との間にいよ〳〵親しみが加はり、朝鮮の民草に吾が皇族の御徳の程が深く〳〵印象されたとは、今後朝鮮の進歩開發上に善い効果を齎すとは申すまでもありますまい、兩殿下が廣く内外の事情に通ぜさせ給ひ、下々の人情まで厚く御心を止めさせらるゝとは今更申すまでもないとであります、此度の如く長い汽車や汽船の御旅行にもいさゝか御疲勞の御樣子もなく、御着早々謁見の儀がおあつて、その夜は直に夜會が催され、引つゞいて昌德宮御訪問共進會開會式、赤愛總會、一千閱親賀と、一日も御休みなく忙しい日程を滯りなく御濟し遊された上四日には學校の御參觀まであらせられ夜は兩殿下の御主催で晩餐會まで催さるゝ、御精力の程は私共の何等もならぬ激務に堪へぬところであります。内地の御旅行等に御隨行致しましても、赤十字社と愛國婦人會の總會とが一所に行はれますので、行啓その他の拜謁者が多い時は四百名から五百名に上るとがあります。それに一々御挨拶あらせらるゝことゝて一時間餘も兩殿下とも御立ちつくしに相成り、少しも御疲勞の御樣子の無いのみか、その後で名所や舊蹟にも御徒歩で向はせられ坂路などになりますと、却つて隨行の者が漸く〳〵やつと御伴仕り恥じ入る樣なとが度々であります、宮殿下にはしますので、それも御元の義と思はれますけれども妃殿下が宮殿下と常に變りなく、元氣に、少しも之れ等のとを御厭ひ遊さるゝ御樣子のなきのみか、好んで忙しい御役目に從はせらるゝ御心には婦人會役員の婦人達が毎も感佩措く所を知らぬのであります。殊に今度の御旅行に際きましては李王殿下、同妃殿下と多くの場合御席を共に遊され儀式以外の時には打解けて色々御物語を御交し遊さるゝを拜し日頃から活潑の御氣質にわたらせらるゝとを拜して居り乍らも有難きことに感じ入りました次第で御座います

初猟のお手柄は

脂の乗りかけた田鴫大鳴

三日は新猟期に入つて以來の日曜日で手具腓ひいて待ち構へた好猟家の面々何れも愛犬を引つれ先を爭つて出かけて行つたが歸途の獲物は何れも意外に尠なかつたやうである、元來朝鮮の山野沼澤が天下一品の好猟場である事は世間既に定評あるとで、一發の彈丸によく數羽の鴨を斃し雁をせしめたと云ふ話は朝鮮に於ては珍らしからぬ事であるが昨今はまだ水田に稻があり野に青草があつて幾ら犬をいれても獲物を發見するに困難である、現に目下は好猟家の後藤新平男を始め内地の名士も夥多入京中であるけれ共昨今のやうでは駄目だらうとの事だ猟は何うしても本月廿日過ぎである、又毎年猟期毎に來鮮する鍋島直映氏も目下入京し三日は和田病院長なと共に京義線汶山附近に漁つたやうだが獲物は僅かに雉十數羽に過ぎなかつたやうで一般にまだ猟期は早い、併かし鴫猟は昨今が最も面白く猟場は御案内の通り京仁線素砂、富平附近が最もよく此の邊の水澤では主に鴨の倍位ゐの田鴫が多く又大鳴は淺い草叢に多く發見される、猶鴨猟で最も面白いのは漢江の下流金浦附近の猟場であるが此所では一發に二三十羽も撃つた人さへある、現に明治町瀧川銃砲店主なぞは河船で江を下り澤山撃ちとめて還つたやうである、猶雁鴨等の水禽類は本月末から十一月にならねば渡つて來ない

劇薬情死

新町遊廓の珍事 男女共に絶命す

蒲鉾の子女皆華かなる歡樂に醉ひつゝありし三日午後三時半頃京城新町二丁目二種料理店京華樓にて男女合意の情死を遂げたる椿事あり女は同樓抱娼妓式部事岡山縣苦田郡芳野村字貞畑部生の福永うめ(二二)男は同京城南山町二丁目の某呉服店の店員を勤めたる大阪市日本橋筋生れの洋服職工足立重三(三二)にて兩人は三日午後三時半頃京華樓二階東側四疊半の

▲式部の部屋に 更紗の蒲團を敷き細帶にて身體を縛り合はせ豫て女が用意したる洗滌用のリゾールを茶飲茶碗にて服し苦悶し居るを式部の朋輩娼妓八島事町田うめが食事の爲め式部の室に至り此有樣を見て腰を拔かさん許りに驚きて家人に告げたるより

▲家中は上を下への大騷ぎとなり直ちに新町巡査派出所に急報し本町署より警官醫師即時現場に出張し應急手當を加へて檢視したるが女は同日午後四時半頃昏睡状態の儘遂に絶命し男も人事不省に陷り同じく午後十一時半女の後を追ひたり是が源因は式部は同

▲遊廓にても美人の方にて豫て内地にて稼業中足立と關係し其後渡鮮して邂逅したるより兩人は一層深き戀仲となり逢瀬を樂みゐたるものにて這回も足立は去る一日仁川より入京し式部の許に登樓し互に歡樂を盡しゐたるに勘定を支拂ふべき持合せなかりし爲め

▲金策を回らし たるも無効に歸したるよりこゝに式部と相談の末合意の情死を決行したるものにて女が以前看護婦を務めゐたる經驗上より劇薬の適度服量を知り居りたるためリソールを適度に嚥下して斯くは見事に最後を遂げたるものなりと女の遺骸の傍には三通の遺書あり一通は國元なる實父増太郎に宛先立つ不孝の罪を許し給へとの意味一通は同樓の娼妓八島へ宛て日頃の親切を謝し今一通は樓主宛にて不義理なる死を謝し身柄の處置を依頼する意味を認めあり男は實母、若子、鶴岡、宮林宛に略右と同じき意味の四通の遺書を認めたり兩人共死骸は檢視の上女は一先づ樓主に男は京城に親戚等もなき爲め府廳に引渡したり

家庭博覧會 鼬退治

明月館の菓子を盗んだ曲者

皆さん御存じの家庭博第四號館に朝鮮料理の本家本元明月館から出品された李王家で儀式用に使はれる朝鮮菓子の蜜の腰つた甘い匂ひには茲に入るほどの朝鮮人が覺えず妙な氣持になるほどそれ程美事な出來榮なのですがそれが此の間から毎朝少しつゝ紛くなつてゆくのです。まさか入場者諸君が好奇心から摘んで見られるのだなどとは夢更思ひませんが、こゝに儺を止めたのは朝鮮人の雜役夫で衛來監督の目が手の上げ下げにまで離れないといふ有樣です。處が、こゝに一大珍事が出來いたしました。それは夜も森々と更け初めた十二時頃、運動場の方面からチョロ〳〵と忍び寄た怪しの小さな動物、四號館の入口にスッくとばかり後足に立ち上つて右手を額に翳し折柄見廻りに來た夜警の者を睨んだ面構へは何とやらして男之助、宿直なすとは知らず忍び込んだる溝鼠……ではムいません、これはまた一尺二寸もあらうといふ大鼬、人を人とも思はずに、ヒラリ身を翻して四號館に走り込みました不敵の振舞に、扨てこそ日頃の菓子泥棒は此奴と極つたりと小使守衛六名を驅り集めて鼬退治とはなりましたが敵もさる者伸縮自在の神通力を隨所に發揮して逃げ廻る素早さ、それでも結局追ひ詰めて進退谷まれば最後の武器の毒瓦斯發射に一同閉口鼻を摘んでギリ〳〵舞ひたぢろぎながらも終に成佛宣告、こゝに菓子泥棒退治の一幕が下りました。成佛の本尊は宿直室に吊してありますが、何れ剥製になつて皆樣のお目の前に出ることでせう。

老爺發狂して轢死を遂ぐ

京義線開城郡中西面土城里立岩洞所在の汽車線路上に三十日午前五時半頃轢死したる男あり同人は土城居住の宇都宮某内縁の妻長尾なみの實父長尾文太郎(五一)にて文太郎は以前より娘の元に寄食し居るも宇都宮方も赤貧洗ふが如く爲めに精神に異常を來し遂に厭世して前夜無斷家出し覺悟の自殺を遂げたるものにて頭部は粉碎され兩足は膝より切斷され見るも無慘の最後にて急報に依り土城憲兵派遣所より憲兵出張檢視の上家人に引渡したり同人は何れに奉職するも永續きせず以前も京元線平康驛附近にて鐵道自殺を圖りゐたる折柄通行の憲兵に發見されて救はれし事ありたるものにて幾分精神に異状を來し厭世悲觀しゐたる形跡ありたりと

覺悟の縊死

京城櫻井町一丁目味噌販賣業日下部方雇人大分縣日田郡高瀬村字後河内生れの佐藤三吉(二九)は三日午後二時頃黄金町四丁目なる日下部方の味噌製造場南側なる井戸傍にて井桁を踏臺にして細帶を以て縊死し居るを日下部雇人彌吉が發見し早速に急報したるより警官醫師と共に出張檢死せしが最早縡切れ居りて蘇生せず全く覺悟の自殺と知れ屍體は雇主に引渡したり

賑かな素人芝居

こゝは各戸御町に祝朝鮮物産共進會の大提灯を軒に張り出し、軒毎に造花を飾り立てゝゐる、他の町の樣に提灯の灯が消えてる樣な所は一つもない、大和町からの入口にも本町からの上り口にもアーチ型に高張の門が出來てゐる若し共進會を祝するの意が灯の美しさと軒並の飾りにありとすればこゝの臨融が最も熱心な共進會贊者であると見ねばなるまい、それに、その上に、本町からと、大和町からの大通りが突き當つた曲角、第一樓側の空地には千餘圓を投じた舞臺が設けられて、毎夜九時頃から狂言を取換へて素人芝居に料亭の若衆達が急仕込の男振りを見せてゐるのだが、何れも大車輪、大向ふからは「吉ちやん頼む」=清さんしつかり=等とお聲がかゝつて大人氣、一晩毎夜全部に撒はれる祝金が十圓、方々の仕込みらしい、[illegible]有志の後援で櫻の後にそこらあたりに家もないチグクンから、地廻り素見客を當めとして、芝居好きの連中が十重二十重に取圍んでゐる

二階より墜落

黄海道延日郡石山面馬洞金基俊(五七)は三日午後八時頃京城南米倉町飲食店金光鎔方にて飲酒泥醉し過つて二階より墜落腦震盪を起して即死したるより警官出張檢視の上屍體は親戚に引渡しとなる

小澤男の招宴

赤十字社總會の爲入京せし小澤男爵は二日夜其の關係せる徴兵保險會社の爲め京城各新聞通信社長を北月に招待したるが同男の談に曰く

徴兵保險は去る明治卅一年の創立にして既に十有七年を經過し今や出張所代理店の數一千四百に及び保險契約高三千六百萬圓、準備積立金七百二十餘萬圓を有するに至れり、然るに朝鮮は最近の開拓にかゝり未だに代理店數二十七、保險契約高七十萬圓に算するに過ぎざるも生命保險に比し契約額の少額なる我徴兵保險に於ては[illegible]之れ朝鮮に於ける[illegible]各位の御後援に興へられたる御同情に依るものにして深く感謝する處なり朝鮮の始政五年を經過し今や盛大に記念共進會の開催を見るに至り朝鮮の産業進歩の跡實に驚くべきものあり[illegible]今後の五箇年は[illegible]朝鮮の前途は益々有望なるを認めずんば非らず殊に新に二師團の増置を見るが如き師團の増設は徴兵入營者の増加となり一般をして益々徴兵保險加入の必要を感ぜしむるものあるべし、是等事情は確に今後募集の開拓上有利なるを信じ居れり、希くは各位に於ても今後一層の御援助を賜らんとを

馬越恭平氏招待

岡山縣人會にては四日夜南山町喜久家にて目下入京中の馬越恭平氏歡迎會を開く

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通三丁目(南大門驛前通入ル) 電話一六五九番 院主 佐々木香造

商況

[illegible]

生果類好況

[illegible]

天氣 曇り 十月五日

▲廣告▼

公告

第一號 京畿道金浦郡高村面所在香山里草坪面積約九萬八百六十三坪
第二號 京畿道金浦郡陽東面所在驪倉里、禾谷里草坪面積約三萬四千四百五十坪
第三號 京畿道金浦郡陽西面所在外鉢山里、內鉢山里、松亭里草坪面積約三萬六千七百五十四坪
第四號 京畿道金浦郡陽村面所在樓山里草坪面積不詳
右草坪ヲ公賣ニ付入札希望者ハ本年十月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラレ度シ
大正四年九月廿七日
京畿道金浦郡

金銀銅牌受領 共進會出品 最新式

專賣特許
各種ポンプ及附屬品消毒器噴霧器 御照會ノ方ニハ御送附申候
圖入定價表進呈
大阪市北區中之島五丁目
各種消防器械製造 合名會社 河野商會
電話土一四六八番 一二四九番

轟號無鶏頭式連猟銃
泊來アツイストス銃身三重止
賣價金四十二圓
銅牌受賞

猟銃猟用具 火薬雷管爆薬類 卸小賣廉價販賣
東京市日本橋區本銀町二丁目
川口屋林銃砲火薬店
電話本局 一九五二・一七七五番
振替口座 三九一番

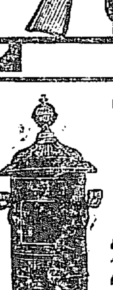
瓢水味淋
堺 高嶋醸
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

食料品雜貨
食料品 果實 青物 水產物
問屋 岩城馨商店
京城旭町一丁目(電話八四二番)
振替口座京城一〇八番
南大門市場卸部

秋田上仲買店 週報

●急反撥と今後の期米
第二回米作豫想は五千五百七十萬餘石と案外の良好を報じ爲めに期米は新甫十二限の發會と共に再崩落をなし今にも茲安直を突破せんずの形勢なりしも二日後場より東京に於ける買聯合成立說黒人筋の買進み等に刺激せられ俄然掘騰大阪先限十二月三十一錢と前場安直よりは八十餘丁の急反撥大波瀾を演出致し候既に[illegible]最早此上深しき下直は[illegible]或は此邊底入れにはあらざるかにも被存候へ共一面穀の大豐收に加へ豐富なる殘存古米を見て[illegible]買を許さゞるものゝ如く尚當分は戾り賣り[illegible]かと被存候!!果して今後の米價や如何に!!
株式會社 仁川米豆取引所仲買人
電話長二〇〇番

●胴張形ストーフ(石炭コークス用)
本器は他の粗製品に比較し最も堅牢にして殊に東京品が他の製品に優るは世間一般に定評あり
販賣御希望の御方は御一報次第定價表送呈
各種煖爐及附屬品製造元
東京日本橋區檜町三丁目
和洋金物卸商 石渡喜八


●みくに煖爐 コークス焚(炭にても宜し)
本器は内部耐火煉化入に付破損の憂なく永く温度を保つ付最も本器の特色なり

朝鮮總督府 文武官及警察官 刀劍類
御用達 渡邊文
東京市芝區露月町十七番地
電話芝千七百七番
詳細ハ御一報次第御回答申上候

秋季特別 壯快壯烈號 本號(倍大)に限り 定價金三十錢 郵税三錢
冒險世界
東京本町 博文館
日露戰役の對話……阿武大風
旅順開城の悲劇……某國某將軍
南航一萬哩……森田海大尉
紙上活動寫眞館……赤髯生
明治大帝の聖諭と歴史上の實訓
▲二十一回猛士の最期……里見生
▲勤王志士井上聞多……平井晩村
▲初陣と一番槍の失敗……大島大將
▲浪人組支那乘取策……宗像政
▲ウエリントンの豪勇……帝風譯
▲飯盛山の十九烈士……長瀬鳳輔
▲海賊提督チルピッツ……外紙所載

◉高麗の無線電信 第一回航海に二十六通

先般來入渠の爲め休航中であつた連絡船高麗丸は第一著の對馬丸に次いで今新に無線電信の裝置を爲して去月二十九日より就航して居る同船無線電信局長手島壽市氏に就き該裝置後の狀況を聞くに下の如くであつた同船裝置後の第一回航海に於ては發著共

△二十六通 あつた其內には一通信五百字を超ゆると云ふ位いな通信にも相當するのがあつて總字數は二千字からあつた、それは京城に於る宿割の指定變更などの用務であつたからである、第二回の航海に於ては四通であつた、高麗丸に据え付けたのはクエンチド、スパーク式と云ふ最新式のもので其著信距離は晝間ならば三百哩、夜間ならば千哩までは到著する、何故夜間と晝間と其れだけの差異があるかと云ふに元來無線電信はエーテルの波動によつて通信が出來るのであるが晝間は太陽がエーテルに光波を起して居るので其處へ無線電信が走るに

△電波を起す 爲に波調が混同するから距離が短くなるのだとの事である何しろ關釜間が僅か十一時間位の短航路であるにも拘らず本船の發信する無線電信は山口縣角島海岸局に於て受信したのを下ノ關から更に沿岸電信によつて釜山へ送るのであるから連絡船が若し數時間前に釜山に向け發信したのでは或は電信の方が本船の

△入港より遲れる 事が無いとも限らぬので當事者間に於ても出來る丈け左樣な不都合の無いやうに心懸けて居る併し何分關釜間の海底電線が僅か一本しか無いので電信が輻輳する場合には萬一左樣な事が無いとも限らぬ釜山に海岸局でも出來たら此上の事はありませぬ云々

家庭博後庭休憩所に於ける[illegible]子（上）とコルドン夫人（下）

◉山林と國民性 岡本山林局長談

總督府農商工部事務官山林局長岡本英太郎氏が往訪の記者に語りたる一節に曰く

△山林と國民性 とは大關係がある山に樹木が無いと云ふことは徒に山野を荒廢せしめ水害を多からしむるのみならず延いては其國民性にも大影響を及ぼし住民の頭腦をも荒廢せしめ進取の氣象を減殺するものである獨逸の強いのは山野に樹木多く原野に森林の多いのも與つて力がある元來

△獨逸は山賊 から起つたもので[illegible]山賊から發達したものであるが、[illegible]にせよ累つて居れば[illegible]して行くが一旦荒れ果てた[illegible]にしては其上は放任して置けば益々荒廢する一方である、植林をするにしても松やポプラとは[illegible]ばかりから植林の根本方針として[illegible]な樹種に代るに成るべく優良な樹種を以てするが肝要である、朝鮮の如きは優秀な樹種を植ると云ふよりも先づ林の

△山に衣服を 著せると云ふのが目下の急務であるから松でもポプラでも可いから成るべく現在のものを成長せしめるのを第一義として次に苗木を植付けるのを方策とする又山林の發達には鳥獸が必要である朝鮮へ來てから未だ一度も鴎鳥の鳴き聲を聞かぬが之では心細い鳥が居れば自然に害蟲を驅除することにもなつて樹木の成長をも助ける自然は敵を以て敵を制するやうに行く出來て居るにそれを人爲的に破壞するから不可ないのだ

◉鰕密漁五萬圓 昨今續々引揚ぐ

淸川江流域に蟠居せる密漁船は昨今續々引揚げつゝあるものゝ如し毎年彼等は春三四月の交より襲來し九月末まで前記河川の鰕を漁し一箇月の漁獲高多きは百七八十圓平均百五十圓の巨額に上れり本年果して幾何の密漁船が漁撈せしや精確に知り難きも例年の數より推せば四五十隻を下らざるべく彼等は概ね七箇月間從事するものなれば一隻の平均漁獲高は千五十圓假りに五十隻來襲せりとすれば總額五萬二千五百圓は實に彼等の爲めに掠奪され然かも官憲の目を潜り危險を冒して漁撈するものなれば所謂『逢ふた時勝負』に附近の漁場を散々荒し盡す例なれば其被害實に測り知るべからざるものあり之が取締として特別は目下老江鎮憲兵分遣所に於て特別の下に極力嚴重に爲し居れるも何分廣漠たる一面の漁場に亙りて彼等を捕へ或は驅逐せんこと頗る困難也云ふ迄もなく此附近の鰕は品質も良く支那人に最も嗜好さるゝ種類にして其採漁期には海面一樣鰕を以て埋められ其間を船の通る時は

△ザラ〳〵と異樣の音發 する程饒密せり從つて內地人の之に著目する者鮮からざれど彼等の中往々支那人と結托し自己の名義を以て許可されたる漁場に於て彼等に漁獲させ自分は其頭を刎ねる者あり然れば明春彼等の來襲時に際し當局は一層嚴重に取締ると共に一面には內地人の漁業者と雖も不正なる者には一切許可せず眞面目なる內地人を指導奬勵して漁獲せしめば漁利頗る大なるべしと

◉忠南經濟況狀

忠南公州附近には農業資金の需用最も多かりしが爲め一時金融界は活發なりしが其後金融界も稍漫を示すに至りたれど金融前商店に於いて品物切換時期となり又農作物も二百十日後の天候良なるが爲め商米貯藏者も一時に賣出す事となりたるを以て貨物の輸入米麥の輸出にて市場益々活發なる活動をなすに至り一般金融界は益々多忙と爲りたり更に一時旱魃の爲一般作物の發育稍々不良なりしも左程の被害なく降雨氣溫適當なりしが爲め稍々稻作の成育も良好にして畑作は例年に比し尤も良好にして害蟲の發生なく此儘持續するに於ては一般農民も多大の幸福なり

◉平壤附近鑛業況

平壤附近の鑛業界（寺洞を除き）の近況を聞くに三菱會社の經營する大寶面石炭鑛は前年來試掘中にて今尚四五十人の鑛夫を使役せるに過ぎざるも大正五年末より本採鑛に著手する由にて目下諸般の準備を急ぎ居れり△柴足面より林原面に亙る無煙炭鑛區は久原鑛業會社の經營にして未だ採鑛に著手せず△柴足面石山里の砂金鑛は本年六月一回試掘したるが含金量少くして其の儘中止の狀態に在り△龍岳面上大里及び斧山面中里に二個所の鑛山あるも未だ採鑛せず△長興附近には金鑛區四個所あるも未だ採掘に著手せざるもの又は昨年十一月採鑛を中止したるもの等にて現在操業せるものなしと

鐵道競走當選者

（龍々號發表分へ追加）朝鮮滿洲交通鐵道競走乙當選者は五百名の應募紙發表の者へ左記三名の脫漏あり追加す

乙當選者

京城 熊澤七十郎　義州 大西金六　鳥致院 原田稻市

◉連絡船上陸客

三日午前入港弘濟丸二等客

一等（三名）西脇庸吉、橘塚次郎、英八一、二等（[illegible]名）森田たき、永井誠一、和智熊太、池邊稍生、見次祥太郎、北岸和太郎、河崎孫助、渡邊寶彥、三上初、[illegible]、町田るい、中島次郎、[illegible]

二日午後入港壹岐丸二等客

一等（三名）[illegible]、岸上鎌吉、外人一名、二等（十九名）田村市松、田中泰基、上原三四郎、橋本八、中里健太郎、[illegible]、新見新助、伊藤久之助、高島道次郎、中山安四郎、西川喜計、柏原猶太郎、高橋繁松、明本勇次郎、明本きよ、岡本治郎、同みれ、岡崎仙之助、[illegible]、三等（五十七名）

演藝案內

壽館 壽町 電話一〇五〇 [illegible]琵琶演奏大會 出演者 [illegible]

世界館 黃金町 電話一四三四 △松旭齋天洋一行出演 △世界的大魔術 [illegible]

御成座 旭町 電話一二九一 [illegible]

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

佐久良座 龍山 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番 [illegible]

浪花館 明治町 電話一六〇番 [illegible]

有樂館 本町 電話二六六 新築落成 [illegible] ◉五日目の演題 △金森源太郎續き [illegible]

祝共進會紀念即賣會

書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒

貴顯紳士諸彥の御土產に適當品澤山

本町二丁目（電話七八四番）京城競賣株式會社

進　正札附陳列　自午前八時至午後六時　縱覽無料　會

國民修養の大典範

第十二版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **生活と處世** 郵稅二錢

人生最も重要なる問題は何ぞや、云ふ迄もなく、常生に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を闡明するもの也。

第五版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **處世小訓** 郵稅二錢

人間の力は、宇宙の大、無限の水に比すれば實に微々たるに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの行を强ゆるものにあらず、隨分人の性に適して缺くべからざる所を力說したる處世哲學の眞髓也。

第十三版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **家庭小訓** 郵稅二錢

子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化が國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **文學漫筆** 郵稅二錢

題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は教育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に觸るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版 □德富蘇峰著 定價金二十錢□ **文學斷片** 郵稅四錢

文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり。斷片と稱すれども、毎編悉く是れ精金美玉たり。

第六版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **漫興雜記** 郵稅二錢

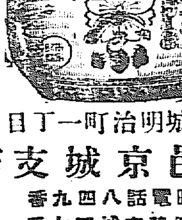
昔は詩人謠うて曰く『詩多漫興無佳句』と。然れども人の肺腑に徹する天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを瑰麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

△郵送料本社負擔▽

賣捌 京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

內科 小兒科 多々見醫院　京城日出小學校前　入院隨意　院主 醫學得業士 多々見五郎　電話九四〇番

比較は最良の撰擇法なり　サクラ正宗　サクラ正宗



山邑京城支店　京城明治町一丁目　電話八四九番　振替京城五七番

京染 [illegible] たまや [illegible]

營業課目

船具、金物、鐵道、鑛山、土工、建築材料、ペイント及油各種、天幕雨覆製作、朝鮮苫有

直輸入品ハバックスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候

總督府認可船燈救命具信號器販賣所　近江帆布株式會社朝鮮一手特約店　大阪小森製鎖場製品朝鮮代理店

仁川本町一丁目電長五六振替京城五九　村谷吉藏本店

平安北道義州城內電長二一振替京城九八一　支店 義州印刷所

眼科專門 金井眼科醫院　京城本町六丁目（元軍司令部通り）電話一五五六番　院長 金井豐七

呉服店 京城黃金町二丁目　丸一綿部　電話二三三一番　振替三六五

（定價表御一報次第送呈）

毛布　薄利多賣

貯蓄預金　元金百圓ニ付日步壹錢四厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町電話四二〇番、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所　龍山旭橋町 電話一八番

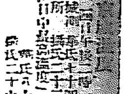
諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

下關期米特電 [illegible]

◉洋鐵割增品增加 [illegible]

◉平板愈々値上 [illegible]

生魚市場 [illegible]



豫報 [illegible]

つちのえうま　十五日 [illegible]

越後大評定

第三席　早川貞水口演

本多作左衛門御側近く進み　作「何事か御心配」　家「其方予に意見を致すな　作「何故で御意見いたしませう。併し臣下の道と致して、良き事は御勧め申すが、悪しき事ならば、御意見いたさぬ限りもムいませぬ。前々左様仰せらるゝは、何事でムる　家「作左先頃予が領分を巡検いたせし時、鶴踏村甚右衛門方へ立寄つたな　作「左様でござりまして、見苦しき破茅屋なれども、暫く御休息あそばしました　家『あの老爺はなか／＼感心な奴ぢやな　作「左様でムいまして、御領分の民は、老も若きも皆若君の御仁徳を有難がり、骨身を惜まず働き居りまする　家「左様か、あの家に、誠に稀なる……アー分つたか　作「一向に分らぬのでムいます……あの節大分御茶を召上りましたから、ア、御気合の工合でも、御悪く成らなければ宜しいがと、作左衛門心配いたし居りました　家「左様か、あの老人は妻を亡ひ、何かその孫に掛つて居るやうぢやな、如何ぢや　作「左様にムいます、あの節茶の給仕に出ました少女でムるか　家「彼女はなか／＼感心な者ぢやな　作「左様でムる　家「彼女をな　作「何事でムるか　家「ア、其方は一向に分らぬ奴ぢや、予は甚右衛門の孫、萬とやら申す者を手許において召使ひ度く存ずる、作左衛門、取計らつてくれぬか、如何ぢや　作「ハアー何と仰せられます、お萬の甚右衛門方の娘を——ア、主君の御手許に召使ひたいと仰せられますか、左様に深く思召すのでムいますか　家「羞しながら、予は彼の者が気になり、何となく昨今食事が進まぬのぢや　作「ハア、ハーツ」飛下つた作左衛門、潸然と涙を流し『ア、左様思召すこと、御無理はムいませぬ、私は不風流にして、とんと御主君の御胸中を推し奉ることを能はず再三御諫め奉りしは、此作左の不行届、如何にも萬とやら申す娘の縁致御見染め遊ばしてムるか、御無理のないこと。昨今の奥方は誠に申し上げるも如何でムいますが、御縁致悪く、殊に嫉妬の念深く居らせらる、元来かゝる奥方を、御迎へ遊ばす御所存もなかりしが、当時人質同様に今川家の一族、関口刑部左衛門親長の娘を貰はねば徳川家の安危興廃に係る一大事、是非なく臣下より御勧め参らせ、御心の進まざる御縁談をも御承知相成り、御一子を挙げられたるものゝ、彼の御嫉妬深きが故に、先頃の如き、卑賤き少女も御目に止まるは、御無理ならざること。然らば計らひますする。なれども表向には成り兼ねまするに依り、此自ら築山御殿へ、御奉公に差上げまするれば、其上は御主君が何となり御計らひ遊ばせ。後は作左衛門引受け、宜しきやう仕るで坐る　家「左様か。其方早速の承知、予は誠に今日快く存ずる、最早悪かりし雲霧を掃ふたるが如く、気分も晴々として快う成つた　作「それは／＼。有り難き仕合せ、然らば此作左が計らひまするでムる」と御前を退る。そこで作左衛門、常人は厳格しき御意見番であるけれども『ア、御道理な譯だ。あの節大分御茶を召上り、御歸還の御時刻も遅れたるは、其事がためであつたか』そこで鶴踏村の名主を喚出し、お萬の身許を糺すと、素性正しき少女でムいまして、其頃甚右衛門の仕へました主人の御娘子で、計らず孫として育てゝあつた。由緒正しき者の子であると云ふ。明らかには分らぬが、名主よりの申し立、そこで甚右衛門を喚出し。御手当を下され名主に申し付け、甚右衛門の家には相当なる夫婦養子でもして、老人を労はるやうにと云ふ御沙汰。御領主御重役様からの御手当でムいますから甚右衛門喜んで孫娘の萬を御奉公に差上げました

本場　ちゝぶ銘仙　京城本町二　ちゝぶや　新荷着　電話八九〇番

皮膚科　徽毒科　入院随意（診察夜九時迄）
皮膚病　徽毒　淋病　膀胱　生殖器病　機能障碍
京城明治町二丁目（元町詰）　佐藤醫院　（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

十月六日　九星
舊八月廿八日　庚午
本命九紫　南　納　大安

△九紫　親しき所に反て損を喰はんとす　新事見合す方は吉　暗剣南△一白　欺され損の事有り日新しき事手控へ待事は吉　女子は一層用心せらるべし△二黒　満足なる日　新居入學金貸名乗求職　棟上［illegible］△三碧　［illegible］△四緑　［illegible］△五黄　［illegible］△六白　失態を隠し安き日　新事手控［illegible］△七赤　［illegible］女子は心を美くしたるべし△八白　［illegible］

京染　染料暴騰以前見越買込有爲染代値上せず従来同様直段を以て堅牢迅速に染上候
京都市柳馬場五條北入　振替大阪（?）
●特約取引専業●　福田庄兵衛商店

大阪岡田療病院長實驗方劑（新発売）
虫さなだ虫　十二指腸虫驅除藥
大阪西區江戸堀北通二丁目二〇七　中原臨藥院

大阪市南區新町通二丁目　本家　田知本和三郎謹製
各地藥店に販賣す　振替大阪二八八番

仁川期米

▲四日前場　大阪前場米寄なるも寄［illegible］
七十二錢四七十錢一錢二錢平均値段［illegible］六百石賣二千三百石賣四千石賣　七十一錢五七十三錢四錢平均値段［illegible］二千三百石賣四五百石賣三四百石賣［illegible］

續て高移りに六十三錢と跳れ二錢と散會を告げたが不相變大阪の大變動を受けても存外冷靜に看過し居れる［illegible］成行

新規買物を呼びたり越て新值に移るやゝより中限に向つて一擧に七八千石の賣物を發したるか各店より利喰買頭はれ結局前代したるに止まり［illegible］

て今前場十二圓丁度と下落七前十八錢と引返し居れりとの移りより見ればは先月の十一錢四一錢を大底として新甫の十一圓五十錢は第二の底にはあらざる乎

京城正米

［illegible］種九圓二三十錢にて二千二三百石商談行はれたり今朝も捌口乏しき人氣なるも午前中商談行はれず

○釜山（二日の穀物）
▲正米（保合）大阪期米昨二日後場は天候隨れの氣味にて買人氣旺盛地廻強氣筋の買進みにより俄かに大暴騰せしも當地正米界は相も變らず［illegible］
て中白米四百四十三［illegible］米千〇四十個の出來なり▲大豆　何分出廻り高少なく一般品持ちの姿なれども氣配は一寸底堅き［illegible］保合なり

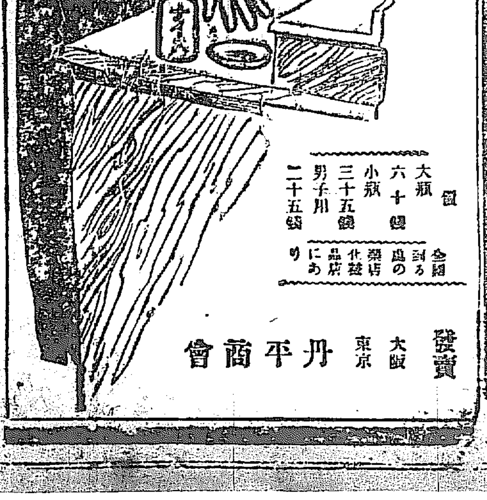
前場	
寄	八圓六十錢
高	八圓六十二錢
安	八圓五十三錢
引	八圓五十八錢
出來	二千七百五十石

限月	
十月限	七千百五十石
十一月限	三千二百五十石
十二月限	七千五百五十石
出來値比較	

成程わけなく染る!!
漆黒にそして気持よく染まる!!これでは誰しもナイスを使ふ筈だ！

志らがあかげ赤毛染　ナイス

五大特色
●タツタ二十分で染る。
●黒々と美しく染る。
●一度染て永く褪げず。
●襟、枕に汚れせず。
●用法至極簡易なり。



價　大瓶六十錢　小瓶三十五錢　男子用二十五錢
全國到る處の藥店化粧品店にあり

發賣　大阪　東京　丹平商會

すく景氣の好くなるクラブ白粉の賣行

天下一品　日本名物

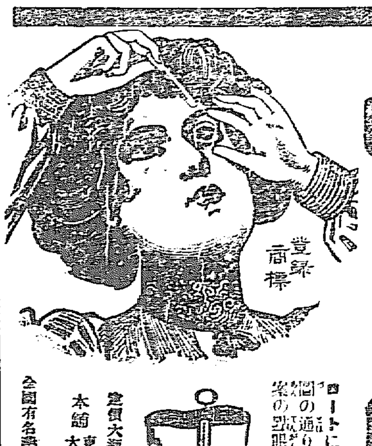
クラブ白粉の賣行近來益々盛ん也

景氣の好い時の品で殊にクラブは一番品が良うございますから一番景氣好く賣れて居ります

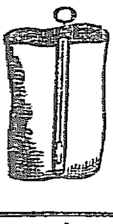
眼科内科　小見科　入院随意
京城黄金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院　院長　本田雄　［illegible］

目ニ見ヘテ　ズンズントキク　シユマズ　イタマヌ

井上博士ノ　ロート目薬



ロートには目を拭くための左圖の通りの消毒した布と新案の點眼器を添てある



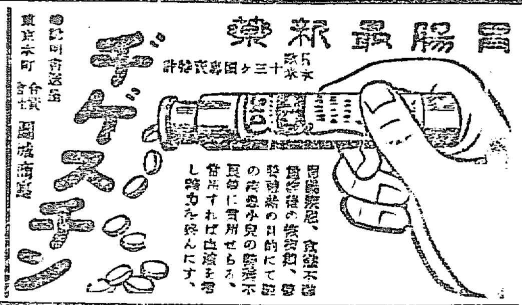
定價大瓶廿錢、小瓶十錢
本舗　東京　大阪　山田安民藥房
全國有名藥店にあり

期米
定期米賣買之栞御入用の方は御一報次第進呈
大阪市北區堂島濱通一丁目
堂島米穀取引所仲買人
入江商店
電話東一九五・一九六・二七三・二九六一

親切叮嚀　客室完備
京城本町平壤大和町
松岡旅館
電話三〇五番

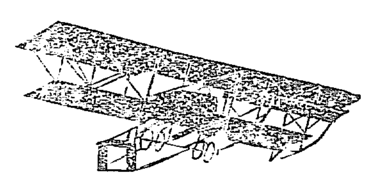
胃腸最新藥

チゲスチン



胃腸病、食慾不振、病後の衰弱者、産後の滋養剤、小兒の腺病の目的にて一日三回服用すれば血液を增し體力を盛んにす。

總販賣元　京城本町　合資會社　［illegible］商會



街では飛行機の評判
お臺所では寿醤油
ほまれ味噌の評判

品質本位の評判は朝鮮は勿論遠く満洲ハルピン浦鹽に及んで居ります是非御愛用願ひます

京城日報

第三版

年中無休刊
(大祭祝日翌日休刊)

定價 一ヶ月金六拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 合資會社 京城日報社 太平通一丁目
電話 [illegible]

京城日報

蒙古の殖民經營

邇日我と支那政府との間の協約成るや、我本土政府及び有力者間に、蒙古の移民及び開拓に關し從事するもの甚だ多く、或は專門家を派して、蒙古の事物を調査し、或は支那政府と實務上の協議を凝す等、拓殖經營に甚だ努むるものあるは吾人の最も喜ぶところなり。

但移民若くは開拓なるものは、獨り其經營方針を立てたりといふだけにては、何等の實績も上らぬのみならず、隨分に他人の耳目を動かして却つて故障を招致するをなきにあらず、是れ其事に當るもの最も注意せざるべからざる所にして、歐羅巴諸國十九世紀以來相共に阿弗利加經營を是れ競ふや、其本國政府及び有力者が首府にありて經營諸策に心力を勞する間に、他國の商人若くは企業者に出し拔かれて折角の苦心も諸施に歸したりといふがごとき、實例は枚擧に遑あらず、對外經營者の最も愼むべきは、其聲のみ大にして實行之に伴はざるにあり。

特に蒙古の如きは我日本人に取りてこそ、全く新たなる經營地域なれ其實は支那人及び外國人の經營、由て來ること甚だ久しきものあり、支那人は此地方を以て天下第一の好殖民地なりと爲し、政府の保護獎勵の下に、農業移民を爲すを極めて盛んにして、蒙古人四十萬人に對して支那移民は既に七八十萬人なりと云ふ、又露西亞の蒙古に經營を試むるや、大熱心を以て其規模を進め、先づ交通機關に就て其權勢を占め、漸次商業上の實權を收めむとするの觀あるに對して、英米人は主として其鑛業に著眼し、赤峰の東北方霍家地の金鑛は七八年前より英吉利人の採掘する所となり熱河附近には英吉利人、合衆國人の經營に屬する金鑛三四箇所あり、熱河附近の石油は米國スタンダード會社が熊寄齡と約して其特許權を得たりと云ふ有樣にて、今日に及びて學問的調査研究などに日を送らば、或は却て外國人の爲めに日齣きに及びて尚ほ提燈を求むるを笑はるゝをなきを保せず。

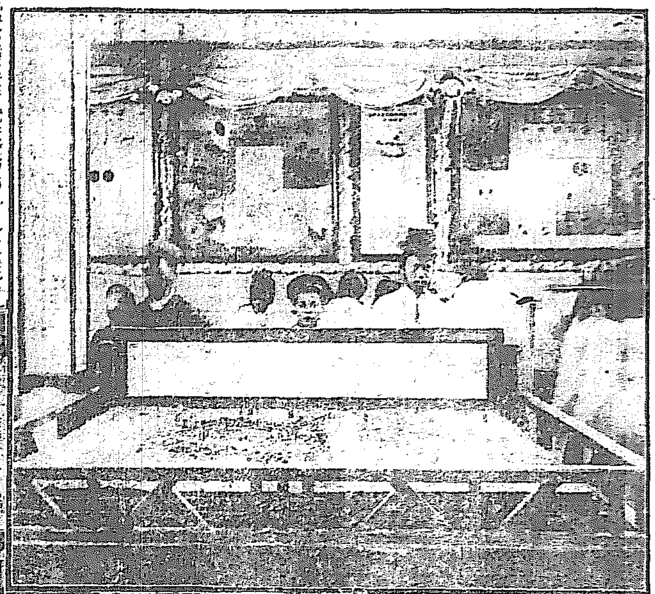
且蒙古に於て開拓の第一要件は人なり、如何なる經營を立て如何なる事業を起すも、我より人口を移植する能はずむば、其事は總て徒空に歸すべし、就中我は實業を主とするものたる以上は、農民の移植は則ち其前提たらざる可からず、然れ共我帝國本土は實際移出すべき農民に乏しく、我朝鮮に移すべきものすら甚だ稀少しといふ實況なれば、蒙古にて支那人と頭數にて競爭するとは思ひも寄らず、已を得ずむば則ち我朝鮮人及朝鮮在留本土人にして他に遷移し得るものを以て之に充るの一手段あるに過ぎず、是等とても果して其要求を滿すに足るべきや否や甚だ覺束なきなり、且農業移民は金融機關其他の設備ありて之を扶植するにあらざれば其功を全くする能はずして其人あり、且其扶植方法ありて初めて此に蒙古經營を談ずべきなり。

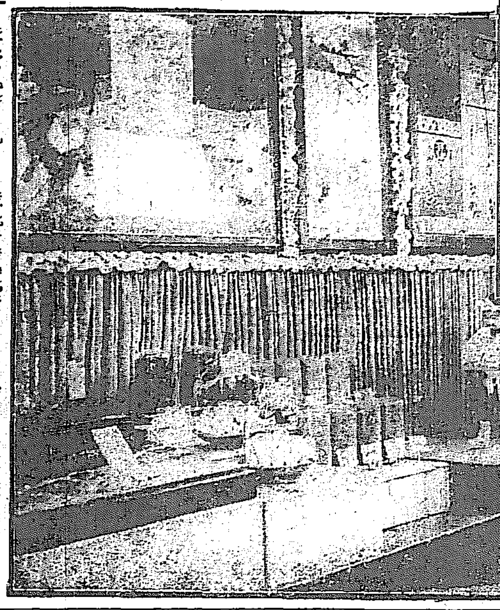
大共進會 出品概觀(七)

▲審勢舘

各舘の縮寫とも謂ふ可き審勢舘は鐵道舘より第二號舘に通ずる道路の南側に設けられ洋樓の揚棚を距てゝ、美術舘と相對す、舘內は十三道に區劃せられ出品物は總て過去五箇年間に於ける各道々勢推移の狀態を表示せるものなると既報の如し西方の入口より順次各道の陳列を一覽せんに

▲京畿道 中央の臺上には管內地理模型並に道路模型を置き、地理模型には京城、仁川其他都邑の所在、府郡の位置、山川の狀態等より、道路、鐵道、電線、航路等各種の交通機關を詳示し一目本道の地勢地理を明ならしむ、殊に仁川灣頭六箇の燈臺は大さ僅に六七分に過ぎざるも燈火を明滅する裝置ありて頗る人目を惹けり、道路模型は漢州街道高陽郡神道面三松里內に於ける實況を現はせるものにして舊道の河川には一の橋梁なく婦人も腰を沒して徒涉し又其坂路は急峻にして行車の困憊一方ならざるの狀と新道には堅牢の橋梁ありて人は自由に相往來し道路亦砥の如くにして、車馬自在に馳驅するのとを比較對照し觀覽者をして、改修道路の功果が其地の開發に如何に必須なるかを感知せしむ、周圍の壁面には意匠を凝せる十九枚の圖表を掲げて戶口、面積、財政、金融、産業、教育、衞生等に關する五箇年間の比較統計を示し、尚ほ其下部には寫眞、模型及び成績品等を陳列して巧に各般の狀態を說明せ中にも白楊田籬(共進會場裏)に於ける人工栽培を試みたる實況寫眞及其飾植桑園反別並に繭産額の增進狀況を示せる繭桑業の模型一戶當り農産の增加を示せる人形新舊教育を比較せる驪島公立普通學校對舊書堂の模型等は興味多き出品と謂ふ可し、今之れ等に依りて併合當時と今日との生産的消長を見るに米は九十九萬六千五百石より百五十一萬二千六百石に躍進し、麥は十七萬三千二百石より五十二萬二千三百石に激增し大豆亦十七萬三百石より二十六萬五千石に增進せり從つて農家一戶當の收穫步合は米四石七斗より六石五斗に、麥八斗より二石二斗に、大豆八斗より一石一斗に激增したり、又た桑園反別は二百二十七町步なりしもの八百三十五町步となり繭の產額は一千百六十九石なりしもの四千五百十三石となれるが如き、以て本道の生產が如何に長足の進步發達を遂げつゝあるかを推知し得可し





(右)京畿道管內模型 (左)同農産成績 ―共進會審勢舘―

東拓の稻作改良成績(三)
五年間に改良種二十二萬石

▲採種小作田の成績 東拓が大正元年度に於て施設せる採種小作田は黃海、京畿、忠南、全北、全南、慶北、慶南の七道を通じ六百八十六町步六反七畝步に及び之より籾一萬八千四百餘石を得たり、其收穫の內六千石を種籾として準備し大正二年度に於ける採種小作田及び改良稻種普及の用に供し尚餘裕ありしを以て改良種の栽培を獎勵せられし向に時價にて分讓せり

▲大正二年度に於ては大要前年と同樣の方法により實施せる種籾は準備種籾の內の優良品を選擇し本田一反步に付七升以內を給與し且つ肥料は當代肥料の外に本田肥料をも給與することゝし成るべく低廉にして効力著しきものを施用せしむる方針を立て綠肥大豆の栽培を獎勵し種子用大豆及び過燐酸石灰を給與し綠肥の適せざる地方には在來肥料の外に大豆粕又は油粕を給與加用せしめたり

▲大正二年度に實施せられたる採種小作田は黃海、京畿、忠南、全北、全南、慶北、慶南の七道を通じ日出、早神力、多摩錦、石白、高千穗、雄町、穀良都、都、中神力の九種、四百七十二町一反七畝步にして之より一萬三千五百十六石餘を得、一反步平均二石八斗七升に當り同地の附近稻田在來種の二石一斗七升に比し三割餘の增收なりき

▲大正三年度に於ては前記七道を通じ日の出、早神力、石白、多摩錦、高千穗、穀良都、雄町、都の八種、四百七十三町二反三畝步を施設し前年同樣種籾を給與し肥料を補給せり、而して前年來獎勵したる綠肥大豆は忠南、全北、全南、慶北、慶南を通じ五十二町步に及び之を施用せる成績頗る良好にて肥効著しく現はれ鮮人農家の之に倣うて栽培するもの益々增加せり而して稻作は二百十日前後の暴風雨の爲め浸水被害を蒙りしものありしも生育槪して良好平均反當收穫籾二石九斗六升に上り總收穫高一萬三千七百石に達し附近稻田の在來種に比し二割八分の增收あり其內約六千石は翌年度改良用種子として準備せり而して大正四年度に於ける採種小作田は三百四十七町步を設置する豫定なり

模範的殖民地
ラー氏の朝鮮觀

彼等の娛樂は街道に於て大言壯語することにして同業相集り躊躇して煙草を喫かし互に議論に耽ること數時間に亘り橫町へ立去るなり若し之れを追跡し見れば彼は陋屋の入口なる二段より成る階段に佇立し而して樂しき家庭の裡に消え去るを見る可し彼は即ち古風の朝鮮人なるも吾人は寧ろ此傲然たる古武士の如き擧動の存するを好めり、彼の堂々たる風姿は恰も巨大なる城門、或は壯大なる宮殿の外觀と共に好一對を爲せり、實に是等の城門、宮殿は人民の貧困を指[illegible]りたる道路にして、朝鮮を輕視せしめ彼の一時盛なりし武人、學者、詩人、美術家及び其他忍耐力ある勞働者をも墮落せしめたる軍帝國の罪科を表示するものなり、兎も角朝鮮人には賞揚する點甚だ少しと雖も亦彼等は更に意に介せざるなり、

京城は約二十五萬人の人口を有し其國の首都にして歷代皇帝の皇居ありしを以て自然に閑雅なる貴族及び富豪なる朝鮮人多く、勿論是等の階級は教育、智能ありと雖も其多くは淺薄にして低能兒に等しく現下の朝鮮には何等貢獻する所なし、

午後重なる市街を逍遙すれば誰しも金箔付の青年怠惰漢を見ざるものなかる可し、彼等は遊惰、浮薄、傲慢笑談を好み賢にセダン要塞陷落前に於ける巴里グランブルアー街シャンゼリセ街を賤春婦を携へて橫行闊步し恬として恥ざる第二佛蘭西帝國の青年遊逸漢を追想するなる可し、然れども久しく衰退せし朝鮮は日本に依りて復活せしめられ前記朝鮮人の如きは其固有の浮薄生活を繼續し能はざるに至れり(未完)

日報歌壇

□うつろ 英夫

美しき女を見てもいつとなく忘れてゐたり散步の跡り。

不足秋の黑き印ある妹の手紙開けば栞こぼれつ

インコがキッスをしをり身をゆりて燃ゆる胸毛の赤きをのへき

□祝始政五年記念物產共進會

秋高く賑ふ高麗の披露かな 大塊
秋芝居清元衆の惠美須顏 同
土宜燦然始政五年の秋淸し 魚骨
大平の樂に醒はんとせり秋の人 黃丘
よろこびや小田の守打つ腹鼓 一風
初雁や貴賓を迎ふ光化門 僊壺
丹精の開きしにまさる菊の花 南浦
始政五年同化の功や稔る稻 鶴城
進展の氣は張れり豐の秋 春水
五穀巳に八道を菊香りけり 芙容
治世の德秋空高く機は飛ぶ 靜軒
菊薔に順化の民も五穀晴る 擔月
この治世秋晴れを人集ふ門 櫻州
瑞穗五段の山畑や肥ゆる馬 楚桂
白花五星霜露け菊に移れる 句平
大方柿も色に出つ栗ささほどに 鳥堂
李も肥ゆ木槿の宿の菊に酌む 目地
海の幸山の幸都秋晴るゝ 虎耳

本日朝刊八頁 共附錄

大阪三品特電
▲四日後場 大阪株式 [illegible]

下關期米
▲四日後場
寄付 二一、五〇 二一、八〇 二二、一〇
高値 [illegible] 二一、八九 二二、〇九
安値 [illegible] 二一、七四 二一、八七

仁川米豆取引所
▲四日後場 [illegible]

▲後場閉散 [illegible]

四日の十二月限 [illegible]

購買公告
一木炭四千貫匁
詳細ハ當部門前揭示ヲ見ヨ
大正四年十月 憲兵隊司令部

小松原校長 本月五日午後九時南大門着列車にて御來城相成候條此段在鮮同窓各位に急告候也
追て本月十日午前十時南山町京城ホテルに於て歡迎及東洋協會朝鮮支部大會開催可致に付爲念御知らせ申上候
東洋協會植民專門學校同窓會朝鮮支部

◎校舍移轉 生徒募集◎
教授上の改善を圖るため今回左記に移轉致候に付きミシン應用の必要御認めの方は此際至急入學御申込相成被下度候
一ミシン刺繡(普通科 高等科)三ヶ月修業
一ミシン裁縫(同上)同
一月謝各科一ヶ月金壹圓
一入學隨時 規則書進呈
移轉地 西大門町二丁目 白井精講士隣
シンガー裁縫刺繡院
本院卒業後成績優秀なる者はシンガー會社教師として就職の途あり

テレメン油 クレオソート油 牛脂 機械油 一切
ボイル油
ナフタリン ペンツール カンスツト
其他諸油脂塗料
大阪 吉川製油所 長電話東大阪三三五番

新刊書御案內

書名	著者	定價
井上英和大辭典	井上十吉	二、二〇
新說無機化學	石川、澁田	三、五〇
教育法眞髓	河の淸丸	二、四〇
算術教授の新研究	足立	一、五〇
瓦斯及其副產物工業	栗原	二、五〇
批判の要訣	上田 小山	一、七〇
有聲錄	小中村清短	一、五〇
新式日英手紙の書方	山田留之助	四五
農家經濟の話	山崎延吉	四五
平家物語評釋	內海弘藏	二、〇〇
盲目	小山內薰	一、〇〇
女の秘密	醉學山人	一、五〇
思ひ出す事など	漱石	一、四〇
妻	田山花袋	一、五五
安眠術	土田卯三郎	一、六五
男女對等論	麻生澤	一、二〇
兩京去留誌	佐宮猪一郎	一、五〇
修養小品	加藤咄堂	一、二〇
國民道德論	佐川 [illegible]	一、二〇
修養の健	大町桂月	一、八〇
大連要覽	特	六〇
朝鮮彙報	共進會記念號	二五

京城本町 大阪屋號書店

婦人畫報增刊
皇族畫報
再版出來
定價三十八錢 郵稅八錢
今秋行はせたまふ御即位大典の御盛事を永久に記念し奉らんが爲 兩陛下 各宮殿下 妃殿下 王子殿下 王女殿下 御七十二方の最近御眞影御貸下げの光榮を擔ひ尊嚴なる御英姿、高貴なる御面影を一に集めまゐらせ、且兩陛下 皇太子 皇子の御日常、茲に各宮家の御事どもを謹記し奉り特に附錄として天皇陛下御宸筆 皇室及び皇族御略系譜を添へたるもの、初版品切れ中の處再版出來
皇族畫報 婦人畫報 少女畫報 日本幼年
發行所 東京京橋鍛冶橋外(振替壹壹八壹八) 東京社
(賣捌全國書店)

婦人畫報 秋季特別號
讀み物 畫報
十月號(本號に限り定價五十錢郵稅四錢)(半年壹圓五拾參錢、壹年貳圓九拾四錢)
□安藤子爵と新夫人 □五節舞奉仕の姫君 □竹田宮の御家庭 □奧田市長外人招待 □二荒伯と夫人 □日置公使令孃 □內外人バザー □三宅博士夫人
□庭の一隅(原色版二頁大)岡田三郎助 □桐一葉(寫眞版二頁大)井川洗厓
□名家の奧樣と令孃 □名家の建築と庭園 □高田新文相の家庭 □文展出品松園女史 □鈴木次官夫人 □令孃の舞姿 □新流行の髮形 □井上侯の葬儀
□婦人の趣味 ▲美術 ▲音樂 ▲演劇 ▲旅行
□お產の前 久留島とく子 □お伽談 八重子 □多物支度 □政治家の妻 □鸚鵡と九官鳥 □美人楠緖子
□恥をかく婦人 □泣かせる結婚 □日記 □新渡戶博士 □三輪田元道 □與謝野晶子
□男まさりの女 □麗やかな顏 宮田修 下田次郎
□初秋珍味 秋穗 □女の帶 石村 □謠曲物語 斜汀 □新大臣訪問 □愛兒の逝去 □婦人の職業
□我家の新工風 櫻井ちか子 龜井まき子 □婚禮のお支度 嘉悅孝子 □子供に及ぼす着物の影響 倉橋惣三
□奥行のない生活 佐治實然 □女子に研究の自由を與へよ 高田文相 □就學兒童に多い病氣 居合大軍醫
○長篇小說 お夏 菊池幽芳 ○長篇小說 はまれ(五十頁) 柳川春葉 □想像で姙娠する婦人 鷲瀨博士

標準辭典
早稻田大學英文學教授 增田藤之助氏著
新撰英和辭典
正價金一圓八十錢 郵稅金十二錢
適當なる譯語―是れ對譯辭典編纂者の最大困難且最大苦辛にして對譯辭典の最大價値は實に爰に存す。語數の多きを競ひ解說の精しきを欲するもの或は少からざるならん、唯譯語の推敲に鍛鍊して洗鍊の上にも洗鍊し、最早他の如何なる語を以てしても代ゆる能はざるまでに達したる此の如きは無し、有らゆる語學界を通じて本書が標準辭典の稱ある之が爲め也。
東京日本橋通・京都三條通 大阪心齋橋筋・福岡上西町
丸善株式會社

列強大戰

▲西部戰報

▲巴里來電に依れば二日夕刻發表の公報に曰く白耳義に於ける佛軍重砲隊は英國艦隊と協同してウエステンドの獨軍砲臺に砲擊を加へたり▲アルトア地方の獨軍はニユーピストスーシエの北方森林との間の佛軍前進に對し猛烈なる砲擊を行ひ佛軍も之れに應じて猛射を加へたり▲ペーリアウバツの北方及び南方並にシヤンペーニユに於ても激烈なる砲戰あり獨軍は窒息瓦斯砲彈を用ひたり▲獨軍の有力なる偵察隊はローレンに於て擊退せられたり▲佛軍の一飛行機はシヤンペーニユに於て獨軍の繋留氣球に爆彈を命中せしめ氣球は火焔を上げて爆發せり▲六十五臺より成る佛軍飛行隊はボーチユ、レー停車場及びチヤーランゲの飛行場に三百餘の爆彈を投下し又たラオム附近を進行中なりし列車に爆彈を投下して列車を切斷二分せしめたり(倫敦發)

▲攻擊廿日 獨軍の大打擊

露都來電公報に曰くウイルナの東方に於ける湖水地方に於て露軍は數箇の村落を占領し獨軍をウイレカ鐵道の西方に驅逐せり露軍がウイレカ地方に於て行ひたる攻擊は既に二十日間繼續し未だ終了せず今日迄の結果は露軍が機先を制して獨軍の攻擊を全然失敗に終らしめ數日間の激戰の後獨軍の一般的作戰計畫を破壞し此の地方に於ける獨軍の進入を阻止し獨軍を痛擊して多大なる損害を被むらしめたり(倫敦電報)

▲羅國狂喜

聯合軍の引續き成功を博せる爲め羅馬尼國中に於ける感激筆紙に竭し難き者あり人民は狂喜せり(倫敦電報)

▲一週間擊沈數

英國公報に依れば船舶の總數は二萬七百二十七隻にして九月二十九日に至る過去一週間に於て獨軍に擊沈せられたるものは六隻に過ぎず尚ほ四週間中に英國の海港に出入せる船舶數は千三百八十七隻なり(倫敦電報)

▲米使覺書提出

紐育來電に依れば駐米獨逸大使ベルンスドルフ伯は合衆國政府に覺書を提出せるがアラビツク號事件を解決し得べき程度のものなりと信ぜらる(倫敦電報)

◎青島及濟南府 最近經濟事情

し山東向き綿絲屬面一俵九十八兩を呼び數日前に比すれば一兩方の高値を唱ふるに至れり[illegible]めんと企業する會社等も出で市場漸く活氣を呈し來れり▲綿絲益々好[illegible]內地より青島に輸入せらるる[illegible]如きも二日前より又々一兩方騰貴して一俵九十九兩の新高値を稱へ居れり[illegible]回市內二箇所に機械工場を設置し先づ落花生油一日五萬斤宛產出する筈[illegible]りしが其製品は主として大連、仁川、大阪方面へ輸出され殊に粕漬は青島名物として當地のみにても可なりの[illegible]何れも高調子にして棉花日本斤百斤十八兩小麥同百斤八兩二落花生同(有殼)百斤四弗(同無殼)同百斤九弗等なり▲落花生の販路[illegible]米國に輸出せし落花生は成績良好なるを以て本年の期節に際しては大い[illegible]省各地經濟界は著しく逼迫しあ[illegible]以て今回の精算に際して多少の破產者を出だす事は免れざるならむと[illegible]

◎陸軍更迭

四日陸軍部內に左の如く親補並に更迭ありたり(東京特電)

參謀次長 陸軍中將 明石元二郎
補第六師團長

免本職
陸軍少將 田中義一
任陸軍中將
補參謀次長

步兵第三十一旅團長 陸軍少將 井野口春清
免本職
補步兵第二旅團長

步兵第三十八聯隊長 陸軍大佐 伊藤祐武
任陸軍少將
補步兵第三十一旅團長

第六師團長 陸軍中將 梅澤道治
後備役被仰付(停年滿限)

陸軍主計監 矢野正躬
依願豫備役被仰付

步兵大佐 吉永狂義
任陸軍少將
豫備役被仰付

◎下院支那視察團

衆議院議員支那視察團は三日夜奉天著四日朝段上將軍を訪問後市中を視察し當地有志の催しになる午餐會に臨み次いで北陵を觀覽したるが夜は領事館の晚餐會に臨む可し尚ほ一行は五日朝旅順に向ふ可し(奉天特電)

◎代議士一行渡鮮

無所屬團代議士二十二名は四日午前八時半東京驛發渡鮮の途に就く一行は五日下關山陽ホテルに於て懇親會を開き同日午後九時聯絡船にて釜山著の筈なり(東京特電)

◎秋月氏任命

前墺國駐劄大使秋月左都夫氏に對し四日左の如く任命發表あり(東京特電)

正三位勳一等 秋月左都夫
宮內省御用係被仰付(勅任待遇)

◎落合領事轉任

三日歸朝せし奉天駐在總領事落合謙太郎氏に對し四日左の辭令ありたり(東京特電)

總領事兼關東都督府事務官從四位勳三等 落合謙太郎
任大使館參事官(一等)
伊國駐在被仰付

◎神社局長更迭

斯波內務省神社局長病氣の爲め辭表提出中のところ四日左の如く更迭ありたり(東京特電)

內務省監察官 塚本清治
任內務省神社局長兼內務省監察官

內務省神社局長兼造神宮副司明治神宮造營局長 斯波淳六郎
依願免本官並兼官

◎澁澤男爵

澁澤男爵三日夜廣島より下關著春帆樓に一泊し四日朝熊本へ向ひたり(門司特電)

◎德富氏渡鮮

貴族院議員德富猪一郎氏は四日午後四時八分新橋驛發にて渡鮮の途に就く(東京特電)

◎殿下御買上品 總數八十八點に及ぶ

閑院宮殿下には共進會場御見物の砌種々御買上品あり總計八十八點に達せるが內農品二十八點、林產物二點、水產物九點、工業品四十二點、教育製作品三點、日本繪四點なりと

◎赤愛獻上品

日本赤十字社朝鮮本部にては李王職美術品製作所の謹製に成れる純銀製神仙爐一箇を閑院宮總裁殿下にまた愛國婦人會朝鮮本部にては同李王職美術品製作所の謹製に成れる螺鈿漆器々具一箇を閑院宮妃總裁殿下に、何れも朝鮮本部の名を以て三日代表者御旅館に伺候獻上したりと

◎運輸業者大會

海陸運輸業者の盛集

運輸業者懇話會は四日午後二時より京城ホテルに開催せられ朝鮮全道運輸營業者の參會者百五十六名來賓として關係官民代表者二十餘名招待せられ定刻開會座長に京城日本人商業會議所會頭原田金之祐氏を推薦し發起人總代として大和與次郎氏開會の辭を述べ青木商工課長は總督の祝辭を代讀し次に檜垣道長官の祝辭ありて後講話に移り三本鐵道局營業課長は朝鮮鐵道と運輸の關係につき、又伊藤海事課長は朝鮮の海運に關し有益なる講話をなし關商業會議所副會頭の祝辭ありて會員中より松原榮氏の感想談あり原田座長亦所感を述べて希望する所あり議事に入り左の決議案を滿場一致可決し四時閉會撮影の後花月に於て午後六時より懇親宴を催したり朝鮮に於て海陸運輸業者を網羅せる會合は今回が初めてなれば非常なる盛會にて互に交歡して九時過ぎ散會せり

決議文

始政五年記念朝鮮物產共進會開催を機とし朝鮮運輸業者懇話會を開くに方り既往に於ける顯著なる進步に鑑み更に大に發奮努力し相賴り相助けて以て斯業の發展大成を期す

▲寺內總督祝辭

始政五年記念朝鮮物產共進會開催に方り朝鮮に於ける運輸業者相會して懇話會を開き會員相互の意思を疏通し斯業の改善發達を圖らむとするは本總督の欣に堪へざる所なり惟ふに天與の富源を開發し產業の振興を圖るは朝鮮刻下の急務なり而して凡百の產業力を運輸の業に借らざるもの無きを以て朝鮮の開發は諸氏に俟つ所頗る大なり今や鐵道の敷設既に一千哩を超え道路の改修亦二千里に及べり翼くば此の機會に於て斯業に關する諸般の講究を遂げ克く此等の交通路を利用して益々運送の敏速と賃金の低廉とを圖り以て國富の進展に資せむことを一言希望を述べて祝辭とす

噫市原總裁

去月二十七日來急性肺炎を病み自宅に引籠中なりし朝鮮銀行總裁市原盛宏氏は其後肝臟病を併發して容態良好ならず、松村主治醫、佐藤、森安兩博士の外小林醫學士、大槻囑託醫等日夜付き添ひ種々治療の手を盡したるも藥石効なく四日午後八時五十五分溘焉として永眠せり、行年五十有八悼しい哉

▲故市原盛宏氏略傳

君は熊本縣阿蘇の人にして安政五年四月を以て生る明治三年家督を相續す夙に熊本洋學校に於て普通學科を修め又京都同志社に入り故新島襄先生の薰陶を受け卒業後仙臺なる東華學校に長たり次で米國エール大學に學びドクトル、オブフヒロソフヒーの學位を受け歸朝後同志社政法學校教頭に推さる後身を實業に委ね日本銀行名古屋支店長出納局長等に歷任し第一銀行に入り三十五年同行橫濱支店長在職中澁澤男爵と共に海外を視察し歸朝後幾くもなく橫濱市長に擧げられ三十九年職を辭し第一銀行取締役兼韓國總支配人として韓國に赴任し四十二年朝鮮銀行の創立せらるゝや其總裁に任ぜらる爾來五年銳意經營朝鮮財界の發展に貢獻する所尠なからず大正三年任期滿ちて更に重任の命を拜す今回病危篤の報天聽に達するや特旨を以て從五位を授け勳三等瑞寶章を賜はる

▲故市原氏の履歷

明治五年	熊本洋學校入學
同九年六月	同校卒業
同十二年六月	京都同志社入學
同十九年六月	同社卒業
同年九月	同志社教員就任
同廿二年九月	仙臺東華學校長就任
同廿五年六月	米國エール大學入學
明治廿六年	同大學卒業
同廿八年六月	京都同志社政法學校教頭就任
同年八月	右辭職
	日本銀行屬拜命同行大阪支店長代理、同本店取締役、名古屋支店長、本店出納局長等に歷任
同卅二年二月	依願解職す
同年六月	株式會社第一銀行本店副支配人兼檢査役を命ぜらる
同卅四年一月	同行橫濱支店長
同卅五年五月	同行澁澤頭取歐米漫遊に付隨行
明治卅六年二月	依願解職す
同年同月	橫濱市長就任
同卅九年四月	明治三十七八年事件の功に依り勳五等に叙し雙光旭日章を授け給ふ
同年五月	橫濱市長退職
同年六月	株式會社第一銀行韓國總支店支配人を命ぜらる
同年七月	同行取締役に就任
同四十二年十月	依願解職
同四十二年十月	韓國銀行總裁を命ぜらる
同四十三年四月	韓國皇帝陛下より勳二等太極章を贈與せらる
大正三年	朝鮮銀行總裁重任(勅任)
大正四年十月	敘從五位 敘勳三等

◎酒造業者大會

中央試驗場に於て

朝鮮酒造業者大會は四日午前十一時より中央試驗場に開催、出席者は主催者側たる京城酒商組合員は勿論仁川、釜山、平壤、元山、馬山、新義州、全州その他の地方酒造業者約五十餘名に達し席定まるや發企人を代表して三巴商會千葉春樹氏の挨拶ありそれより開會の目的たる朝鮮酒造業聯合會設立の件、內地に於ける釀造協會と聯絡を執るの件、在鮮諸會社官廳其他の宴會に於ては成るべく鮮內釀造酒の使用を請ふ件、鮮人の需要者增加の傾向に對しその普及の途を講ずる件、酒精及び支那燒酎の需要增加に就き對抗策を講ずる件、戾稅を目的とする劣等酒の入防遏策を講ずる件等の議案提出ありて滿場一致を以て馬山の酒造家清水鶴行氏を座長に推し前記諸議案を討議し第一項を除く外全部列席の草賀中央試驗場技手の指名せる委員附託となり午餐の後委員會を開き直ちに宣言書を發表し聯合會長、來賓の挨拶祝詞等ありて大會を終了したり

宣言

本會は斯業の發展を計る爲めに朝鮮酒造聯合會を創立し內地に於ける釀造協會と聯絡を取り釀造技術の研究をなすと同時に全鮮に於ける清酒の需要著しく增加せるに鑑み內地清酒の輸入を防遏し自給自作の輿論に伴はんことを期す

◎米穀檢査規程發布

京畿道にては米穀檢査規則第二條による米穀檢査規程は豫て其筋に認可申請中の處此の程認可あり四日附道令を以て發布され來る十日より施行せらるゝことゝなりたるが今其の內容を記せば道長官の指定する檢査地より鐵道又は船舶によりて朝鮮產玄米を輸出又は移出せんとするものは悉く本令によりて

▲檢査を受くる ことを原則とし檢査地は仁川府及振威郡內南面の二箇所とし同地に於ける仁川穀物協會平澤米穀商同業組合の團體をして檢査員を置き檢査せしむるものにして檢査を受けんとする者は檢査請求書に一叺に付一錢の檢査手數料を添へ檢査員に差出し檢査は乾燥の程度、石、籾、碎米、其他の夾雜物混入の多少及び量目並に包裝の適否に付き之を行ひ檢査の結果は一、乾燥充分なるもの二、夾雜物百分の三以內三、一叺の量目五斗又は四斗四、包裝叺一枚の重量七百匁以上其他一定せる規格をなしたるもの等の檢査標準に合格したるものを上格とし

▲合格せざる物 を下格とし上格米の條件を具備し且つ米一升に付石の混入十粒以上に精選したるものと認めたる米は優等とし而して下格米にして籾其の他の夾雜物百分の八以上のものは輸出又は移出することを得ず檢査濟の米には各叺面に優等は赤色上格は青色不格米にして輸出又は移出し得るものは黑色下格米にして輸出又は移出し得ざるものは「不」の字形を示したる黑色の其の設印を押捺し一見品格を辨知し得ることゝせり其他檢査員にして不正の行爲ありたる時再檢査を拒みたる時に於ける制裁の方法をも規定せり

◎京畿秋蠶成績

京畿道本年度に於ける秋蠶收穫成績及び狀況を聞くに飼養戶數一萬七千二百三十二戶にして前年に比するに二千五百七十三を增加し蠶種に於ては內地種二萬〇六百七十三枚にして前年より九千二百十八枚を增加し在來種に在りては三百十一枚にして前年より四千二百六十五枚を減じ繭產高に於ては內地種に屬するもの四千七百六十四石にして前年は二千六百六十二石又在來種に於ては僅かに五十石となり昨年の六百七十七石に比し六百二十七石を減じ總收穫高四千八百十四石にして前年より一千四百七十五石の增收を示せり之に依りて見るに在來種掃立枚數本年度蠶種製造表製造枚數に比し著しく減せしは在來種飼養の不利益を覺り之を拋棄し改良種の普及に努めたる結果なり

市原總裁を悼む

朝鮮銀行總裁市原盛宏氏は客月下旬微恙引籠中なりと傳へられしが數日を經たる二十七日には急性肺炎而かも頗る重態なるを聞き吾人は其の經過を憂ひながらも其の快癒の速かならんことを祈り且つ信じて已まざりしが、料らざりき天假すに餘命を以てせず、四日夜に至り遂に癒えず溘然不歸の客とならむとは。痛嘆何ぞ堪へむ、哀惜の情實に禁ずる能はざる也。

市原氏が朝鮮銀行總裁として任に此の半島に來りしより星霜五年を過ぐ、否な其の以前に於て明治三十九年第一銀行韓國總支店を統轄して京城に來りしが故に、氏の朝鮮生活は確實に指を屈すれば正に十年、因緣の淺からざるものあり。氏が內地に於ける實業家とし將又公人としての名聲は茲に改めて喋々を須ひざる也。朝鮮に於ける金融の樞軸を握り其の總裁としての功績を數ふるも樓指其し第一銀行當事者として又朝鮮銀行の多きに堪へざらむとす。半島の紊亂せる幣制を整理し、通貨の流通を圓滑にし、政府財政に貢獻して、直接間接に產業資金の放出によりて半島富源の啓發に稗益し、同業者との連絡を密にして金融の緩急を調節し朝鮮貿易の發展に參しては進んで滿洲の金融經濟に手を攬げて海外銀行たるの職分使命を竭し、更に大なる飛躍を志して內には鮮銀の基礎を牢固不拔ならしめ外には帝國の威信を經濟的に重からしめしが如き、何人と雖も鮮銀の功績を認むると共に首腦者たる總裁の偉功を否定し能はざる也。

今や帝國の利權は益々北に伸びて滿蒙の開發、其方面に於ける金融機關の進展、而して朝鮮の經濟財政の將來は一層金融機關の活動を須つもの多きの時に方り、突如市原氏の訃に接す、痛恨何ぞ堪ふ可けんや。人材は尊重すべし、然れども經驗は更に貴重なり、朝鮮開發の前途多望且つ多忙の日に於て貴重何物にも代へ難き先覺の人經驗の士を喪ふことは朝鮮の爲めに如何に其の損失の大なるかを思ひ、吾人は憮然として長嘆の外なき也。夫れと同時に鮮銀の諸氏上下を擧げて市原氏を見ること慈父の如く、其の人格を欣仰するの切なりし丈けに、其の長逝に遭ひては如何に悲傷する所の大なるかは實に同情に餘りあり。

朝鮮大共進會開かれて盛會其極に在り。殷賑多忙なるによりて感ずる程度の厚薄なきは勿論なれど、若し夫れ盛時去り秋風梧葉を零すの時に至らば寂寥の大なるを感ぜむ。茲に市原總裁の長逝を悲しみ哀悼の意を致す。

◎中橋德五郎氏

入京中の中橋德五郎氏は五日朝八時半南大門出發湖南線視察を爲し木浦へ赴く

◎馬越恭平氏

入京中の馬越恭平氏は五日午前九時二十分南大門發元山に赴き金剛山視察を爲す筈

◎野田副總裁病氣

野田東拓副總裁は胃痙攣に罹りしが豫後引籠治療中なりと

◎府郡參事諮問會

京畿道にては來る十月十一日より三日間每日午前八時半より道廳宣化堂に於て道府郡參事諮問會を開催する由にて開會中京城仁川水原等を視察すべしと

人事消息

▲近藤仙太郎氏(工學博士) 五日午前八時臨時列車にて元山へ向ふ
▲古市公威氏(工學博士) 同上
▲日下部辨次郎氏(工學博士) 同上

芳賀矢一 杉谷代水 博士合編
作文講話及文範
書翰文講話及文範
兩書ともに十七版
絕大の好評 超群の賣行 讚美と喝采とを獨占す
內容見本進呈
菊判全二冊 往復定價金參圓 特價貳圓六拾錢 小包內地拾六錢
菊版全二冊 定價貳圓 特價壹圓八拾錢 小包內地拾六錢
東京神田 冨山房

太陽 十月號要目
定價三十錢 郵稅三錢 前金(四冊 一圓二十七錢 八冊 二圓四十四錢)郵稅共
△政治家の去就……淺田江村
△千九百十二年の英獨協商……長岡博士
■獨逸戰時財力の將來……堀江博士
△獨逸最負の羅馬法王……田中萃一郎
△南洋新占領地事情……山本美越乃
■軍備上より見たる國民の覺悟……某將軍
△土獨關係と巴爾幹の向背……長瀨鳳輔
△鏡心燈語(婦人界評論)……與謝野晶子
■獨逸思想排斥論……浮田博士
△所謂問題文藝と理想と……木下杢太郎
△社會問題と文學者……石坂養平
■御大典と亞細亞圖書館……內田魯庵
△帝國財政と井上侯の功罪……堀江博士
△歐洲戰と婦人問題の將來……工藤日東
■合歡の花(長篇小說)……田山花袋
△大局より見た今の日本畫……岩村透
△內生活と外生活……安部能成

生活
定價十八錢 郵稅一錢半
■卅年間の夫婦共稼……賴母木代議士
△東本願寺法主の日常、趣味、人格
△東郷大將の應接室と夕飯……匿名
△書齋の形(說明圖入)……法師
■生活難の避難場……江原素六
△豫言と夢が適中した實例(寫眞入)
△洋畫のモデルになる女……藤島武二
■名妓の身の落着……(寫眞入)
■娘を女學校に入れる親への警告……菊池大麓、鎌田榮吉、東郷昌武、石橋臥波
東京本町 博文館

▼燈火可親讀書の最好季!!!
良書撰擇の羅針盤 御大典紀念景品券附
最新訂正 內外書籍目錄 無代進呈
本目錄は二百六十有餘頁には今古內外の圖書數萬を類別して掲げ且つ最廉の販賣價格を附したり
◎ハガキにて御申越次第送呈す
▼大阪市東區心齋橋筋博勞町角 嵩山堂

◎弊舖の名譽
壹等賞金牌を受領せし
大清一流カステーラは
閑院宮兩殿下御用命の光榮を賜はれり
仁川新町 大清菓子店 電話一四八番

[illegible]地より支那商人の當地に入込む者增加し綿糸布、鞋寸、諸雜貨の賣行きよく、綿絲布の如き市價日々に騰貴[illegible]年產品の[illegible]込に奔走しつゝある問屋、米棉、印度棉の昂々強氣配なる爲山東棉を買[illegible]入貨の第一位を占めつゝありし綿が最近世界棉花の暴騰より綿絲の價格も漸次昂騰し山東向き綿絲扇面の[illegible]にして輸出多からざりしが、鈴木商店にては專ら山東產品の輸出に努力せんとし今[illegible]及び製造法等を調査し愈本年二月より粕漬と罐詰の製造に著手せし者あ[illegible]呈し居れり

▲濟南　昨今濟南市場の諸物價は[illegible]五十仙乃至牛油同百斤十九弗牛皮同百斤四十五兩にて其內動き始めたるは棉花、落花生、同油、牛骨、牛皮[illegible]公司の手を經て牛皮一萬數千元買出をせり▲仲秋の精算無事[illegible]有樣にして此れに由つて觀る時は一般に唱ふるが如く財界の實狀は悲觀の境にあらず（青島）

あゝ光榮と歡喜の宵よ

閑院宮同妃兩殿下御退京の前夜　衆を召して御名殘を惜ませ給ふ

夕陽の殘光、紅に、龍山官邸庭内の池に落ち、天に冲する二個の噴水に映る四日午後六時、大禮服に金光燦たる勳章を胸にせる山縣政務總監が馬車を驅つて參せるを首めとして、六時五分寺內總督は金モール肱ふき陸軍大將の正服にて夫人同伴自動車にて來り、つゞいて同十分、前後を騎馬巡査五名に護衛されたる李王並に同妃殿下、李埈公、李堈公殿下同各妃殿下、閔李王職長官、小宮次官の順序にて大禮裝美々しく四臺の馬車轅を接して來るあり、つゞいて騎馬憲兵の護衛ものものしき後藤男、河野農相、同じく燕尾服にシルクハットの禮裝に威儀を正して馬車を驅る、その後よりは濱尾男爵夫人、柳樹綢子刀自、伊集院子爵夫人等の白襟紋服を乘せたる馬車、戞々として至り、之れ等と前後して大島次官を首め井口軍司令官、川村師團長、古海参謀長、總督府各部長官、各局長、李王職各勅任官、奏迎送掛員、赤十字、愛國婦人會關係者貴族等夫人同伴にて馬車人車を馳るもの約六十名、龍山官邸の內外は劍光帽影參差として壯觀云はん方なし、之れぞ當夜閑院宮同妃兩殿下の賜はる大晩餐會に召さるゝの光榮を荷ひし貴紳の參向するものなりけれ、時に六時二十分、一同の打揃ひたる頃ほひ、嚠喨たる奏樂館の一方より聞ゆると見れば、一同兩殿下の御附別當その他の人々の案內にて定めの席につく、四周の山紫より黑色に暮れ、舘の內外には電光一時に點せられ、大廣間には花電燈燦として晝の如く、雪白の布もて覆へる長卓の間には菊花、ダリヤの色鮮かなるが插され常盤木の鉢よき程に置かれ廣間には銀光清き燭燈點ぜられ、金屏風立てまはされたる所、兩殿下、李王同妃兩殿下、李埈公、李堈公並びに各妃殿下、寺內總督同夫人以下、花の如く星の如く居流れたる華かさ眼を奪はんばかりなり、軈て一同席定り宴開かるゝや爽かなる奏樂は絶えず響き、美酒、佳肴盡くるを知らず、宴酣なる頃殿下には三鞭の盃を擧げて李王殿下寺內總督以下の爲に健康を祝され、總督謹んで之れに奉答するところあり、各殿下にも御交驩ありて歡談歡語、舘に滿ち衆皆光榮と歡喜とに感激措く所を知らず退出せしは八時三十分頃なりしとぞ洩れ承る。

龍山鐵道殉難者弔魂祭　寺內總督臨場

鐵道殉職者弔魂祭

廿五年以上勤續局員の表彰

曩に全線一千哩の記念祝典を行つた朝鮮鐵道局は四日又復殉職者弔魂祭と廿五年以上勤續者の表彰式を擧行した弔魂祭は龍山鐵道公園新築の

□大弔魂碑の下にて

午後二時半より擧行されたるが先づ大なる自然石の碑下には青竹に七五三繩及び幣を垂れたる祠に祭壇を設けこれに鏡餅、鮮魚、果實等を盛れる供物を供へ又其の左右には五色の幔幕纏らせる祠に奏樂の伶人差控へ次で來賓及び局員の參列者は其の左右後方に整列したるが軈て寺內總督は森海軍武官、大藤副官、池邊秘書官と共に來場猶ほ山縣政務總監、山根中將、立花警務總長、古市公威氏、野村龍太郎氏、大園鐵道院理事、兒玉伯等の參列者もあり又祭主大屋鐵道局長官始め小城、岡村技師、和田參事等も祭壇の左右に整列斯て

□祭壇の幕を撤して

修祓降神の式を執り行へば齋主の祭詞に次で祭主大屋長官の祭文朗讀あり次で神前玉串を捧ぐる式は莊嚴なる伶人の奏樂裡に開始せられ先づ總督官祭文の拜禮に次で寺內總督拜禮玉串を奠ずるの式あり次で山根中將、古市博士、鐵道院代表者大園理事、局員拜禮しかくて午後三時弔魂式終り午後三時半より鐵道俱樂部に於て局員表彰式を執行した先づ式場に金屏風を繞らせる壇上には山縣政務總監起ちて廿五年以上の勤續局員に

□表彰辭令を授與す

其名譽ある表彰に預りたる局員は先づ卅五年勤續の吉村副參事、卅九年勤續の岡村技師を始め卅三年の大屋長官、卅七年の笹井參事補、等を始め一瀨參事補、村瀨副參事、新谷書記、小出、太田技手、勝野書記、神戸、池田雇員、松岡、北川、內山工夫長、石田炭水夫等の人々あり次で授與式を了りて山縣政務總監の訓示と古市博士の演說あり斯くて午後四時式を了り後廳舍東側の宴會場にて饗宴あり一同盃を擧げて鐵道局の萬歲三唱午後四時半宴を撤す

癈兵感激

總代謹みて語る

愛國婦人會朝鮮本部總會に癈兵總代として總裁閑院宮妃殿下より御手づから恩賜金を拜受した南大門通三丁目奧田洋服店內陸軍一等縫工長向田喜三郎氏は謹みて語りて曰く『私は京城居住の癈兵總代として二日の愛國婦人會總會に生涯記念すべき面目を施しました元來我々の身で畏くも宮殿下の咫尺に奉伺する如きは思ひも寄らぬことで主人初め知己の人々も誠に光榮として有難く存じてゐます私は明治二十八年近衛步兵として東京に入營し其後轉科して縫工に屬し日露戰爭には最初旅順攻圍戰に從軍し其後鴨綠江軍に轉じ永陵附近で公務の爲め發病し遂に癈兵除隊となりましたが目下割合に壯健で職務に從事してゐます拜受した恩賜の御書には

癈兵一同

本會の主意に據り特に金員を贈與す

大正四年十月二日

愛國婦人會總裁

載仁親王妃智惠子

と寔に物體ない御言葉でありますが是は單に私の榮譽のみならず京城居住の癈兵一同も有難き恩惠と感佩致してゐるのであります

理髮業者大會

學校を建てよ試驗をせよとの建議案

金谷京城府尹を名譽會長に戴く朝鮮全道理髮師大會が四日の午前八時から銀行集會所の樓上に開かれた、會する者全道の同業者約百名先づ金谷會長の祝辭、同會衛生顧問古城醫學博士の講話がありその他各地からの祝辭、祝電の朗讀等があつて議事に入る、京城理髮組合總務委員長荒木半太氏議長席に就き消毒に關する件、助手徒弟に關する件、京城に理髮學校を設置するの件、理髮營業試驗制度とする件、外國人同業者即ち支那人理髮師に關する件等を附議したが盛んな議論が出て結局學校の設置も時間の短縮も試驗制度も理想としては誠に結構だが今日の社會狀態では到底實行は難かしいのであるから當分延期する方が宜しからうといふ說が多數で五時過ぎ散會地方の出席者は市中の理髮店の視察をした

財界の巨星隕つ

あゝ市原朝鮮銀行總裁亡し矣

▲功績多大　荒井度支部長官談

故市原朝鮮銀行總裁は曾て日本銀行、横濱市長等を勤めてゐたが何れも多大の成績を擧げて尠からぬ功勞があつた、自分と懇懇の間柄になつたのは其後第一銀行朝鮮支店總支配人として京城に赴任した以來である、氏が

▲在鮮中の功績

は一兩にして止まらぬが第一銀行朝鮮支店總支配人の當時に於て紊亂を極めた舊韓國の貨幣制度を統一し其引上げ萬端滯りなく之れを完成した功勞は實に特筆大書す可きものである夫れから明治四十一年朝鮮銀行が設立され中央銀行として今迄第一銀行で扱つてゐた一切の事務を引繼いだ時に當つては一方は總支配人として故伊藤公と自分に對して種々交涉を重ね、色々面倒な仕事が多かつたに拘らず其れを

▲圓滿に解決し

て無事朝鮮銀行に引繼ぐことを得、同時に氏は鮮銀の總裁となつた、同行は創立當時向後五箇年間六分の配當を爲し得る樣其不足額は政府で補給する事に規定されてゐたのであつたが一年を越さずして補給を廢し今日では既に七分の配當を爲す好成績を擧げてゐる、這は一面に於ては鮮銀は新に設立されたとはいへ第一銀行當時の權利義務を悉く繼承した爲め種々の便利が有つた點もあるがまた一面に於ては總裁其人の經營宜しきを得其處置を誤らなかつた大なる功績を忘るゝことは出來ぬ、昨年の任期滿了に際しても亦德望を負うて重任し益々同行の基礎を固め愈々立派な成績を擧げ來つたのであるに天齡を藉さず五十八歲を一期として幽明界を異にしたは惜みても餘りある次第である

▲勤勉衆を率う　銀行集會所會頭　原田金之助氏談

只今、年來の親友市原盛宏氏の訃音に接した私は驚きと悲しみの情交々胸に迫り、何んとお話してよいか、それさへ判らぬ位である、私が市原氏を識つたのは、同氏が東京、大阪等の日本銀行に勤任した時代で、日本銀行朝鮮總支配人として三十九年に渡鮮してから親交を續けて來た次第である、氏は資性溫厚にして又博學の紳士、朝鮮に來任して以來は紊亂したる當時の財界を銳意整理し朝鮮銀行を創設しては財界に於ける多數の人材を蒐め、氏も亦自ら勤勉力行衆を率ゐ今日に至つた、今や其人亡し、朝鮮銀行の損失はさることながら、經濟界も亦此巨星を失うて淋しいのである。

▲蛟龍池中のものならず　故總裁出世の演說　朝鮮銀行理事　木村雄次氏談

總裁も遂に永眠されました、實に殘念に堪へませぬが今は天命とより諦める外はありませぬ總裁

▲生前の言動

には色々語る可き事がありますが御承知の通り取り込むでゐまして何を御話していゝか少しも判りませぬ、唯だ何時も忘れ得ない一事は總裁が實業界に頭角を顯された動機です、夫れは總裁が日本銀行に這入られて間も無い明治二十八年でした、有名なスペンサー博士が來朝して有益な講演をされる事になつた、發企者側では折角の大演說であるから之れが通譯には最も適當な人を選むで一部分一部分の通譯でなく演說の全體を一度に譯させようでは無いかと云ふ事に相談が出來た、而して其通譯者を

▲物色した末

一層市原氏に依賴しようといふ事になり川田總裁から之れを依囑した、市原氏は再三固辭されたがたつての懇望默し難く遂に引受けられて通譯の勞を執ることゝなつた、其日スペンサー博士は稀有の演說を試み殆んど三時間に亙る長廣舌を振はれたが博士が降壇すると市原氏は軈て起ち上つて始めから終りまで何の苦もなく物の美事に之れを譯し去つて氏が頭惱の明斷なること造詣の淺からざるとに滿堂を驚歎せしめ博士の演說以上の大喝采を博して大に面目を發揮された、此時の

▲副島種臣伯

は感動措かず此の爲めに左の一絕を賦して氏に贈られました、御覽の通り之れに幅となつて茲に大切に保存されてあります

絕域大賓航海來、翺翔其上日逡巡、誰軍九譯通人意、日有如君卓犖才、

贈市原君　種臣拜

總裁の評判は當時大したものでした今日の地位を贏ち得られたのは總裁の非凡な才能の卓越した手腕に在ることはいふ迄もありませぬが實業方面に名聲を馳せたのは之れが動機でいはゞ出世の端緒です

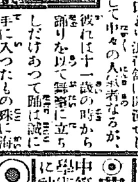
▲總裁葬儀

七日午後執行　諸名士の入京

總裁市原盛宏氏危篤の報東都に傳はるや夫人カネ子、令息宏氏等は二十八日、次女光子、女婿森忠雄氏は二十九日入京し、次男盛次、三男直彦、長女次惠、女婿法學博士久保田吉律の諸氏は四日夜入京の筈なるが尙ほ牧師綱島佳吉、原田同志社々長、德富國民新聞社長等は逝去後直ちに入京す可し總裁邸にては諸氏の到著を待ちて七日午後四時三十分京城鍾路なる中央基督教青年會館にて葬儀（朝鮮銀行行葬）執行の筈なるが當日は山本組合教會牧師司會の下に綱島牧師の追悼說教、德富猪一郎氏の履歷朗讀等あり、會葬者約二千人の豫定にて寺內總督代理及び各部長官、局長、各國總領事等多數の會葬者あるべく弔文も同志社校友會を代表して原田氏友人を代表して德富氏其他六名の朗讀者ある可く盛儀を極むべし、遺骸は茶毘に附し東京に於いて小崎牧師司式の下に埋葬式を行ふべしと

えんげい

△桂小南來る　四日より浪花舘に開演せし桂小南は若手の中々の人氣者なるが、彼れは十一歲の時から踊りを以て舞臺に立ちしだけあつて踊は誠に手に入つたもの殊に海晏寺は五代目菊五郎の型其他拙盤の舞ひ前座さかにて流石に妙味がある等も面白くモタレには例の頭坊あり其他近來に無き顏揃ひなり。



家庭博覽會

今日此頃は見頃の最中

家庭博は今日此頃が見頃の最中だ暑くもなければ寒くもない秋晴れの十月、輕い袷著の家族連れが減つ切りと增えて來た、而して其見方が頗る著實で研究的の婦人が多くなつた『妾は之れで三遍目ですが眞個に觀て幾分でも實際に我家に應用して見たいと思ひますと一度位見をした許りでは不可ません』と却々詳しく觀て居られた婦人があつたが此頃は此種の觀客が

▲非常に多

く夫れが期せずしてお臺所の前に集まるのは不思議なやうだと、四疊半のお臺所と一疊半のお臺所の前には姑さんとお嫁さんの異樣とお女中と云ふお連れで滿員而して其批評は實際的で却々穿つたもので『お前自宅のお臺所の横手の所を此樣にすればよいのだよ』とお嫁さんと二人で早速に修繕方の話がこれで定まつて終まう、小供衆には此間から家庭博に來た九官鳥が

大評判、サヨナラと云へばサヨナラと、お母さんと云へばお母さんと種々な口眞似をして愛嬌あること此上もない

▲運動場で　はカチ〳〵山のお辷べりと例のお猿の安さんが又大愛嬌で女を見ても小供を見てもムカ腹を立て見物人のお臍の皮を撚らせて居る四日の觀客中には知名の人が尠くなかつた

江原道長官李圭完氏など二時間以上の時間を費して仔細に觀覽して居られた『江原道の樣な片田舍に住む朝鮮人に進步した清潔な日本の家庭の內容を見せて貰ふ事は朝鮮人を開發する點に於て多大の力がある、此家庭博を觀て私自身としても

滿員に付日延べ　吉田奈良丸

◎五日目演題奈良丸得意の讀物

▲赤垣源藏德利別れ　上下二席の長講演

本人當地に於て他に出演の噂さ有之候へ共當舘以外に於ては出演せず

好機逸す勿れ　有樂館

▲大に啓發するものがあつた』と非常に感心して居られた、日本知名の士では中橋德五郎氏や馬越恭平氏なども來觀され、團隊では金浦郡民の七十人と仁川公立普通學校、太田恩賜產業傳習所の生徒も來觀して非常な賑ひ、殊に夕暮れから怪しかつた雲が名殘りなく晴れ上つたので夜分の入場者は又非常なもの後庭は立錐の餘地もない盛況だつた

京日案內

◎普通　一回前金三十錢（毎割引）　毎名一回毎に金五錢增

◎求雇　至急被雇度し性質溫行能く事務に得耐商業學校本科二ケ年修業年齡廿二才（姓名在社）　672

◎外交員至急募集す　京城花園町六十七番地　毎日通信社京城支局　678

◎外交員採用　希望者履歷書携帶本人來談事業商衡收入確實　京城花園町一二二　帝國圖書普及會支部　675

◎募集　經驗ある調劑生看護婦及見習生入用希望者は本人參院せらる可し　◎仁川　佐藤病院　674

◎貸家　日本建溫突付三室玉板閑靜官吏向　漢陽公園角裏　管理者　龍山印刷局先畑中　677

◎建物賃貸　共進會場外聯合美術館閉會に付き希望者に即賣賃與す　新龍山漢江通一三番地　服部基　654

◎平壤名產玄武燒栗　共進會の御土產品として最良品生栗も卸します　旭町一取次電話一五七二番　玄武堂　659

◎番外　一回前金六十錢（毎割引）　毎名一回毎に金[illegible]

◎募集　新聞配達人數名至急募集す　但し市內に確實なる保證人を要す　希望者本人至急來談あれ　○明治町二丁目　町田新聞部　673

◎農場及技術員被雇度　中等教育修卒青年果樹蔬菜に關する學術技藝を專攻せり農場又は技術員に被雇度委細面談（姓名在社）　676

◎乳母入用　望みの方は是非本人御來談ありたし　京城本町二丁目　電話二二四九番　金銀屋　664

聖行館　明治町ヤソ教會となり　舘長　岡村介石　666

旅館　宿泊料金一圓均一　特に別府湯泉の設備あり　地方各位樣の御便宜上前日若しくは御報知に應じ停車場迄御迎に差向升　京城本町三電話一四九三番　大和舘　661

◎各縣販賣者並主任募集す　時機的切精巧無類月收無量市內來談　地方照會　東京市神田區美土代町一丁目四拾四番地　大日本護國會　655

分權　專賣特許佳味滋養豆乳製造販賣の分權　各市郡一名宛募集希望者來談あれ　十月十日迄京城若草町百六番地　電話二二六三番　分權所　西村商會　660

◎かせぐすりに百種あり　第一カゼピリン　627

◎マッサージ鍼治灸點特得治療　胃の痛刺腹赤痢虎列刺の豫防　神經痛淋疾小便以上の病は一二回にて直ります是余の特得たる處なり　京城府廳官舍前橫入電話一八七八　一陽堂　616

◎鑛物分拆　各種　◎鉛銀鑛石買入　京城太平町二三百四十四番　坂本分拆所　636

◎成從平壤栗　種子用　食用　◎特產苗木　おろし　小賣　種子農具商　京城勸農園　電話七〇四　振替口座京城五六　639

◎日鮮人外交員募集　◎希望者は至急本人來談あれ　◎京城南米倉町安達內　御即位式大典奉祝記念會朝鮮支部　電話一九一七　641

募集　本業は美術ゴム細工前途有望自宅で出來る好職業　自轉車　各タイヤ修繕機景品付大販賣　詳細來店又は有劵十錢送れ　京城黃金町日之出商會　電話二六五二　645

皮膚病　花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二一〇二番　566

◎藥房　開業御披露　藥種賣藥有名　京城本町三丁目　電話一二四五番　小野藥房　644

◎通信教授　バイオリン尺八　講義錄發行何人も直に上達する新案特許の方法論が設據詳細規則進呈　九州福岡中島三　大日本家庭音樂會　508

◎造花　裝飾記章調製御用達　各種原料廉價販賣可仕候　京城南大門側漢陽公園上り　青沼忠榮商店　576

有望なる在滿洲の醫院至急讓りたし　但し年收約七千圓あり　姓名在社　634

◎ほねつぎ（うちみくじき）等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

模範純粹培養　牛乳　ヨーグルト　太正塚肥醫獸畜場　京城蓬萊町四　東亞牧場　電話五二番

滿蒙處分論　露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯　定價金一圓　郵稅本社負擔　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

朝鮮銀行總裁從五位勳三等市原盛宏病氣の處養生不相叶本月四日午後八時五十五分卒去致候此段謹告仕候

追て葬儀は來る七日午後四時三十分京城鍾路中央基督教青年會館に於て執行可致候

大正四年十月五日

嗣子　市原宏

親族總代　久保田吉律　森忠雄　市原眞志男

友人總代　男爵　澁澤榮一　荒井賢太郎　德富猪一郎　水越理庸

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候　京城大和町三丁目（總監部通）　大和葬儀舍　電話二四三八番

電一五六七番　旭町二丁目（名古屋城下）　株式會社京城葬儀社　本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候　二川屋事　靈柩馬車の設備有之候　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番

千生瓢 (3)

須藤南翠作　筒井年峰畫

颶風の前(三)

『事なしい猿が軍配、彼の軍勢何處へ向ふか、乾度斥候致させえ』小手を翳して繰り込む敵の旗指物を見てゐた信孝、後を振返つて斯う命じた。

『斥候は既に出いておざり申す。敵は三手に分れて、瑞龍寺、稲葉山、まつた當城に寄するげおざる』

登の下より稲葉刑部少輔が應へた。信孝は頻りに點頭いて、

『三手の大將は誰々か』

『左ん候ふ、當城へ向ふ一軍は、五色の吹抜に瓢簞の馬標を押立て丶其勢二萬と註しておざる』

『うむ、夫ぞ筑前の本陣、人馬の足を休めぬ間に、蹴散してくれうツ』信孝躍り上つて勇み立ち、鎧の上帶一締しめて、蹶然として坐を起つた。

『殿!』刑部少輔は鎧の大袖を無手と掴んだ。

『出陣の妨げ、其處放せ』信孝は軍扇を振上げて、小手を拂つた。刑部少輔は其前に立塞がり、

『匹夫に等い血氣の勇、大將軍が輕々しい御動作』

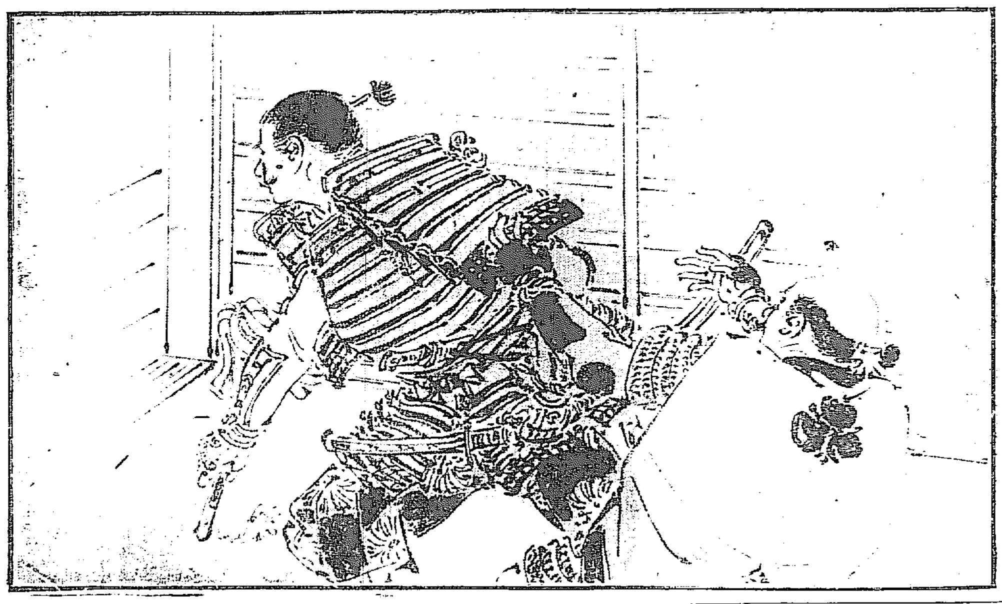
『匹夫とは無禮!、退れ刑部』

『殿こそ御控へなさせられう。敵の陣を立ぬ先に、邀へ撃つは快ながら夫も兵の多少に出る事。此度の一戰敵を城下に引寄せて、柴田殿上洛の路を開く。それ肝眼ではおざりませぬか』

『言ふな刑部、筑前是れへ來ること網に入つた魚同然、今彼奴を討たずんば、いつ雌雄を決さうぞ。馬牽け物共!』

跳除けて出ようとするを、刑部少輔乾つと隔て丶、

『それ御短慮、彼の旗印を筑前と見て、殿御馬を進め給はゞ、敵の術中に陷つて、御難儀は目前おざる。此手の大將筑前でない、美濃守秀長、孫七郎秀次おざるわ。先づ敵の軍略を見て、徐に方略を運らされるやう御賢慮然るべう存ずる』



力めて諫止した齋藤刑部少輔は、早速腹心の郎等を招いて、機密を授けて出して遣つた。

寄手は今にも攻めかゝりさうな勢ひを示しながら、陣所を堅固に設けて、遠巻にしたまゝ、持久の籌をする樣子であつた。此光景を見て治まらぬのは、抱へられた浪人共である。一か八かの大賭博を張つて、立身の蔓にあり著かうといふのが目的で、籠城ほど興のないものはなかつた。眼前に敵を見ながら、矢一筋放さうではなし、明ても暮ても眠むツこをして、それ火が揚つた、やれ村が燒けると、夜毎に火の手ばかり眺めてあるのは、檻に繋がれた狼の前に、狐兎を放されたやうなものである。で、此手合が集ると聚ると、拔驅の相談をしてゐるので、更に軍合を下して、拔驅を嚴禁した。

齋藤刑部少輔の放つた細作は、能く敵陣の動靜を探つて、怠らず情報を齎らして來る。夫に據つて策應するので、常に機宜を謬らなかつたが、火細質となつて敵陣に入り込んだ間者が、城に歸つて言ふのを聞くと、刑部は頻りに眉を顰めた。

『其方樣に秀長に逢うたせやな』

『逢いまいた。なりやこそ御陣せを承はりまいた』

『聞さ言はう。秀長其方に向つて何と申した』

『[illegible]に[illegible]申す。此程より御討出である事と御待受申すに、水沒入道に教へられて、御陣所の[illegible]』

『何、何と申す、水沒入道に教へられたとか、あの水沒入道―』

刑部小輔は驚いた。其水沒入道は城内より放つた細作である。

『何と仰せられまする。今日は火細質で御陣中隈なく見物御遣はし添ない。[illegible]せ申した。是等を軍師に、御討出であらせられう』

『えゝ、夫聞いて何にする、白痴め―』

『まだおざりまする。秀長また城中の樣子を知る爲に、間者を差出し置く、申さば互ひの方略おざる。伺ひ澤山に遣はされたいとおざりました』

是れ刑部は默して答へなかつたが、是より城中の將士、互ひに心に疑ひを生じて、一致を破るに至つたのは、正しく秀長が苦肉の策であつた。

大割引 自動車

新羅一千年間の舊都（朝鮮の奈良）慶州に遊べ 京釜線大邱驛より快走タツタ二時間半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

子宮病 こしけ 新式二劑療法

○こしけの下る婦人は既に恐ろしい子宮病に罹つてゐる證據ですから早く而も根治せねば生れもつかぬ病身になります殊に淋毒性のこしけが子宮の奥部へ入ると腹膜炎を起して往々一命を失ひます夫故少しでもこしけある方は勿論逆上、頭痛や足腰冷て困る人も直に御手紙下さいこんな強いこしけでも如何に頑固な子宮病でも内服薬を追ひ式二劑療法を御知らせします

東京中澁谷府西大學前 駒澤洋藥研究所

藥まらいの人は飲め フェロールは 美味にして驚くべき滋養 虚弱な人や

代理店 京城南大門通 新井藥房／同 大平通 キムラ藥舖／釜山辨天町 大黑藥舖／元山 石田濟生堂／木浦 木下藥舖／安東縣市場 井上藥舖

江戸の氣は今日はなりけり海苔の味

乾海苔　味付海苔　燒海苔　海苔佃煮

京城本町 海苔鰹節商 柳屋

白馬印

醫化學諸器械一式 藥種賣藥卸商

仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番

京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

株式會社 百三十銀行 京城支店

資本金 五百萬圓　頭取 安田善三郎

京城本町壹丁目 電話四五八番 振替貯金京城一一九四番 一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

最上醬油 芳香旨味 天下一品 平壤 内田釀造

上〇ヤ 最上醬油味噌 釀造元 平壤泉町 内田釀造所 電話一三七番 振替京城一九二四番

支店 龍山漢江通郵便局前／平北道定州城外／安東縣市場通八丁目

自轉車は『ミヤタ』に限る

販賣品は極度の安價にして 修繕は至極親切叮嚀に致します

京城南大門通 新井藥舖前 電話二三七三番

有力なる 毛生劑

發毛に就て院長の信用は世間の知る處也 試み玉へ其他新式白色劑にきびそばかすの美顏料くせ毛藥等一切説明書郵券三錢要

東京駿河臺袋町九 電本一七七一番 東京美容院

十月十日より五日間 三越の大賣出

よせぎれ見切反物例年の通澤山取揃申候

京城本町 三越呉服店

商況

大阪株式特電

合同紡績　鐘淵紡績　同上新株　東洋製糖　大阪商船　日本郵船

四九、八〇　二一九、五〇　九四、五〇　二六八、〇〇　七八、七〇　九七、〇〇

九月限　十月限　十一月限　十二月限　一月限

二六、五〇　二七、一〇　二七、三〇　二八、二〇　二九、〇〇

二五、九〇　二六、七〇　二七、〇〇　二七、七〇　二八、五〇

[illegible]　一一、七八　一一、九二

大阪期米特電（四日）

六十八錢さ六錢高に寄付直に七十錢さ揚げたるも賣物多く六十六錢と押し大阪五節三十七錢さ引返し移りに八錢さ返して動かず連節七八錢の[illegible]

ずるも當地は相變らず伸び悩み保合を繰り返し居れるより人氣は稍氣迷ひ模樣を生じ來り爲に市場は閑散を感じた一昨前場大阪の十一圓六十四錢の寄付を受けて八圓五十錢に發會したるが大阪は七十[illegible]

て格下げの米は勿論格下げで米の變怪とは別問題である扱本年の新古米の差格五十錢の確定は今後如何なる影響を及ぼすや疑問なるも目先將に實氣を助長し居る者と見るを得べし斯る成行に[illegible]

寄付　八圓六十八錢
後場 止　八圓六十八錢
安値　八圓七十錢
高値　八圓六十六錢

賣買取組高
十月限　七千百五十石
十一月限　二萬九千三百五十石
十二月限　九千八百五十石

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月 五日後五時出帆
○元山城津雄基行 小倉丸 十月十四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 神丸 十月 日後五時出帆
○元山、淸津、雄基行 神丸 十月 七日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三寳平丸 十月 七日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三寳平丸 十月十三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大眞丸 毎月三日九日西日廿一日廿六日 午後十時出帆
本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
吉丸 十月 七日後四時出帆
君が代丸 十月十一日後四時出帆
神代丸 十月十五日後四時出帆
大有丸 十月 日後五時出帆
第二太湖丸 群山、大阪行
土海丸
仁川海岸町二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波丸 芝罘、大連行 十月 七日後七時入港 十月 八日前九時出港
共同丸 城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸 月 日 後九時出港
第三共同丸（元山出帆）西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部 仁川代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆

○大連大沽牛莊行 高砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十月 八日 正午出帆
相模丸 十月三十日 正午出帆
○青島直行（大連經由）江京丸 十月 日 出帆
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

全羅丸 十月 五日
黃海丸 十月十五日
京畿丸 十月 九日
咸鏡丸 十月十九日
釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間、但△印は元山釜山間直航する
本社 電話長一九五二番 三三番
鐵道及其外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會を請ふ
京城南大門前 京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇）

大阪商船仁川出帆

中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候

昌平丸 十月十日 元山發
鏡城丸 十月 六日 元山發（元山より各港經由雄基行）
忠淸丸 十月十四日 元山發
行丸 十月 七日 元山發（雄基、淸津、浦鹽行直航釜山經由門司）
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十月 九日 釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港濟州島行）
江陵丸 毎日（釜山 浦項）發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 十月 八日 釜山發 長承浦、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 慶尚丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發 各港經由麗水行
慶興丸 十月 六日 木浦發 各港經由濟州島行（月八回）
公州丸 十月 日 木浦發 南多島海列島行（月三回）
宗信丸 十月 六日 仁川發
江原丸 十月 六日 仁川發 芝罘、大連、青島行
晋州丸 麗水丸 十月 九日 仁川發 各港經由木浦行
金剛丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十月十三日 群山發 十月十六日 若松發 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行
×○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 漢城丸 十月 八日 漳州丸 十月十一日 須磨丸 十月 日 午後五時出帆
×○木浦、釜山、長崎行 △は嚴原鎭南浦に寄港 安東丸 十月 九日 △天智丸 十月十八日 午後二時出帆
××○鎭南浦、大連行 安東丸 十月 九日 天智丸 十月十八日 午後二時出帆
○○鎭南浦關門神戸大阪行 月 日 月 日 正午五時出帆
△△○群山、釜山、浦項行 千珠丸 十月 九日 チヨイサン丸 十月廿一日 午後四時出帆
△△○大連直行 千珠丸 十月廿七日 チヨイサン丸 十月十五日 正午出帆
○元山、淸津、浦潮行（釜山出帆）▲は城津西湖津に寄港 久丸 十月十七日 地宮丸 十月 七日 ▲城津丸 十月十三日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸 十月廿九日 新高丸 十月十一日 午前四時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船被下度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番、二〇番、五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

祝大共進会

京城郵便事務概要

斯の如く其成績を擧げつゝあり

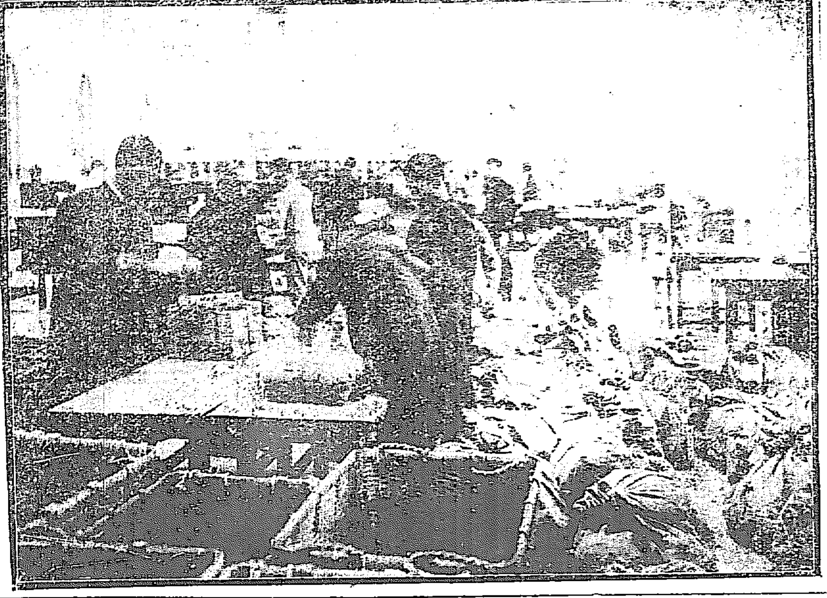
▲集配事務

集配係に於ては郵便物の引受と配達とを取扱ふものにして

▲引受事務 市内七十本の郵便函及び局内郵便函より取集たる郵便物は之を検査し其の切手を消印し發送係に交付す切手消印は一分間に百五十通乃至二百通をなす而して同局取集區劃は六區取集回數は一日八回にして其の取扱數は一箇月平均七十八萬餘通なりと

▲配達事務 他局及び自局引受のものにして同局に於て配達すべき郵便物は配達區分棚に區分す此等の郵便物は集配人に於て配達道順に組立て配達す配達人員は便により相違あり鮮人宛てのものは鮮人集配人五名又は六名にて鮮人以外宛のものは内地人集配人十八名二十三名又は三十五名にて配達す而して大便到著より配達人出發迄に要する取扱時間は三十分又は一時間なりとす一日の配達回數は六回にして一箇月に配達する郵便物は約六十餘萬配達郵便物中名宛人轉居又は居所不明等の事故の爲め持戻るもの一箇月平均二萬二千五百餘通にして居所不明のものは再三再四集配人をして調査せしめ尚ほ不明のものは集配人取締又は監視人をして調査せしむ屑書不充分等の爲め配達又は還付することを得ざる郵便物は一箇月平均百四十一通なり以上の如く當集配係員の取扱ふ郵便物は引受配達を合し一箇月百卅八萬餘通にして之が取扱ひに從事する吏員は七名也而して集配人は内地人四十九名鮮人十二名也

繁忙な郵便物の撰り分け



▲配達採聞 集配人が正當に郵便物を配達せしや否を取締る爲めに一日の配達郵便物中二十通を撰み其差出人及び受取人の住所氏名を書抜き翌日監視員をして其名宛人に就き受取の有無配達時刻等を尋ね配達人勤惰を取締る又吏員監視員をして配達途中の行動を監視せしめ不都合なきを期す

▲注意事項 郵便物の屑書不充分なるものは局取扱上の手數を要するのみならず配達の遲延は勿論遂に不達に歸するにより郵便物差出の際は其の屑書は詳細に記入すべしさ又同局に於ては最終配達便は著便の關係上集配人の出發時刻は午後九時四十分なるにより各所に於ては受取人の就寢後配達する場合多きにより郵便物受函を設置すれば双方の利便大なるにより之が設置を希望すと

▲郵便の發著

他局に郵便物を發送し又他局より到著せし郵便物を取扱ふ其の差立回數は一日卅八回到著回數は三十四回ありて差立行嚢數は二百十五個到著行嚢數は百五十個にして取扱ふ郵便物數は一日五萬七八千通一箇月平均百七十四萬餘通にして之に從事する吏員は十四名なり

▲差立郵便物 は内地京釜線京新線、京元線等方面別に大區分棚に區分す而して大區分を了したるものは更に各局所宛小區分をなす京釜線に達するものは二百五十八局所に京新線に達するものは百十八局所に京元線に達するものは七十四局所京奉線に達するものは十二局所又内地行のものは百四其他廿三局所に合計五百八十九局所に區分す此の小區分をなしたるものは更に一應該區分の有無を検査し局所宛の紙を添付把束し行嚢に入れて之を發送す

▲到著郵便物 大區分館に自局配達のものと市内局配達のものと誤送のものと區分す而して自局配達のものは集配係に引渡し市内局配達に係るものは差立の例に依り發送す誤送を受けたるときは相當事項を誤送をなしたる局に通知して同一過誤を再發せしめざる樣相戒むるものなり

▲注意事項 屑書不完全の郵便物は差立區分の場合に於ても取扱上手數を要す左記の如きは又誤區分し易き屑書なるを以て其の所在地を明に記載し又鮮内主要ならざる地に宛たるものは郡面里名を記載すべしと誤區分し易き屑書としては(一)朝鮮總督府勸業模範場(二)朝鮮總督府營林廠等にして右宛郵便物は朝鮮總督府とある爲め京城に誤送せらるゝも(一)は水原(二)は新義州にあり京城地方法院水原支廳とあるものは初めに京城とある爲め京城に誤送せらる依て(一)(二)(三)には屑書に各其の所在地名加記すべしと(一)京城大島町何某(龍山局區内)(二)馬山萬町何某(馬山元町區内)(三)元山東拓出張所(元山局所區内)宛のものゝ如き(一)京城局に(二)馬山局に(三)は元山局に誤送せらるゝことあり若し差出人に於て其の配達郵便局所を熟知せらるゝものは屑書に(何局區内)と記載せらるれば局取扱上に便利也

▲特殊郵便

特殊取扱郵便物は多く貴重品封入あるを以て當部には妄りに係員以外のものを出入せしめず其の取扱ひにも充分の注意を拂ふ特殊郵便物を發送するには一通毎に其の引受局名番號とを送状に記入し之を赤行嚢に納めて封緘の上吏員に大行嚢に納め發送す而して郵便物を赤行嚢に納むる場合には二人立會の上送状と貨物とを對照し相違なきを認めたる上納入封印す又其の赤行嚢を大行嚢に納むる場合に於ても立會者を設け之をなす到著したる赤行嚢は其封印に異狀なきやを認めたる上二名立會開嚢し送狀と貨物とを對照し相違なきを認めたる後配達するものと他局へ送付するものとに區分し配達に付するものは配達帳に登記し配達人の受領印を捺し郵便物と配達證とを交付し配達せしむ特殊郵便物の差立及び到著回數は通常郵便と同一にして同局一箇月の平均配達物數は一萬三千餘通にして他局へ發送するものは三萬五千餘通なり而して之に從事する吏員は七人なり、特殊郵便物は毎便其の出入を日計簿に記入し其の日の終りに計算し出入相違の有無を明かにす而して當係の事務終了は毎日午前一時半乃至二時頃なり

祝共進會開催
群山港幸町
精米輸出業 三橋精米所
電話五[illegible]番

祝共進會開催
群山港本町
貿易商 福田又支店
電話長三二番

祝共進會開催
群山港本町
貿易商 回漕業 中柴商店
店主 中柴萬吉
電話長二四番

祝共進會開催
群山港
貿易商 籾摺業 精米業 森菊五郎本店
電話一二二番

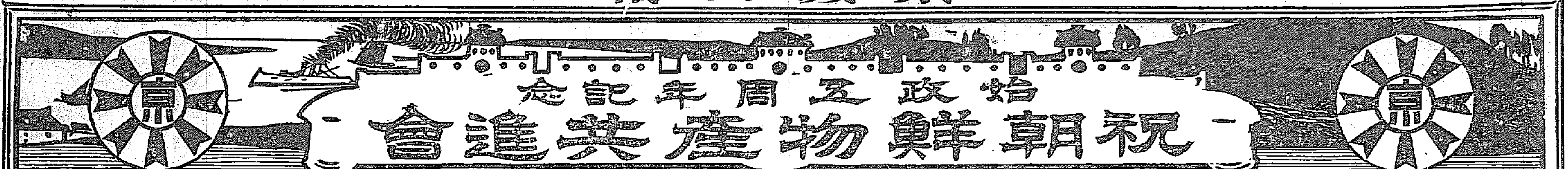
祝共進會開催
全北禾湖 熊本農場
全北沃溝郡 熊本農場支場

祝共進會開催
群山港明治町
産科 婦人科 花柳病科 外科
池田醫院
電話三五[illegible]番

祝共進會開催
群山港
大坪法律事務所
電話一五九番

祝共進會開催
群山港本町
大阪商船株式會社群山代理店
電話一〇番
始政五年記念共進會行船客に對し(自九月一日至十一月十日群山仁川間運賃)左記の通割引仕候
▲三等割引運賃 單獨片道壹圓八拾錢同往復參圓廿四錢、二十五人以上團體片道壹圓五拾錢同往復貳圓七拾錢、五十人以上團體片道壹圓四拾錢同往復貳圓五拾貳錢
▲二等は三等の倍額、一等は三等の三倍額とす

祝共進會開催
群山府
朝鮮銀行群山出張所
電話一一[illegible]番 振替京城三[illegible]九番



●婦人會員十萬人募集

會長板垣伯爵夫人の熱心
家庭に居て料理法の卒業

婦人養成に努力せらるゝ
東京割烹講習會々長 板垣伯爵夫人

榮枯盛衰は世の習ひとは云ひながら殊に生存競爭の烈しき今の世の中は百萬圓の財産を宛にして嫁入しても其家は瞬く間に沈落することあり朝夕の煙も細き裏店の夫婦共稼ぎより中に一代の大福長者となりしもの現に世上に數へ盡せぬほど多し斯かる人も羨む成功は主人の手腕に在ること勿論なれども其背後に良妻賢母の内助あるにあらざれば一家の榮はし例なし人に良妻賢母と稱えられ家政を上手に切廻すには茶の湯、活花の如きは何の役にも立たず主婦第一の任務として毎日三度づゝ其必要を感ずるは料理の心得なり料理が上手なれば廉價なる材料を用ひてさへも惣菜は固より、不時の客膳まで寔に體裁よく美味に出來上り經濟にして而も一家團欒の趣味に富み主人も最愛の妻の手料理に舌鼓を打つ晩餐の爲めには一日の勞苦を忘れて何よりの樂みとなり一家は和氣靄然として富榮の基を開くものなり而も今日の婦人界に於て料理の心得を缺くもの多きは

▲婦人として第一の欠點なれば如何にもして料理法の普及を圖らんと板垣伯爵夫人は東京割烹講習會に會長として多年一日の如く熱心に努力されつゝあるが料理は敎へ方が其宜しきを得ざれば其稽古は畑水練も同樣實地の役に立たざるものなるより同會にては遠隔地方の人にても家庭に居ながら毎日實地應用かた〴〵稽古が出來て良師に手を執りて敎へらるゝも同樣正則完全に料理法を卒業せしめんとする目的の爲めに附屬事業として

▲帝國女子割烹學校を設立し良家の令孃令夫人を入學せしめ講師は何れも有名なる各專門大家を聘し惣菜料理を始め、儀式料理、客膳の獻立等の日本料理一切及び西洋料理、支那料理、より漬け物の漬方、和洋各種菓子の製法に至る迄毎日教場に於て煮焼をしながら練習せしめ其實地の講習を材料として衛生、經濟、美味の三點を眼目とし一層親切周到なる通信講義錄となし會員に配送するものなれば世上に類なき一大特色を有する

▲完全なる實用向通信敎授にして一から十迄掌に指す如く實際によく判る故今日迄全國を通じ男女十有餘萬人の卒業生を出だし雄大なる設備の下に空前の好成績を示し而も其敎授法は實驗に實驗を重ね最近更に一大進歩を示し理想的完成の域に達せるが

▲今回新學期を開始するに當り一層發展擴張の目的を以て全國に男女會員を募集中なるが此通信敎授は假名さへ讀める人には直ぐ判り半年修業一年卒業にして會費は一箇月三十五錢、三箇月一圓、半箇年一圓九十五錢、一箇年三圓六十錢の低額にして而かも毎月間斷なく講義錄を附送さるゝ故後に纏めれば數冊の立派なる藏書となり一生の虎の巻となるものなり

▲入會手續は極めて簡便にして『ハガキ』に講義錄送れと書いて申込めば早速會員として講義錄を送り始め會費は後から其土地の郵便局より集金に行く故送金の手數もなし至て容易にして便利なり目下新學期開始の折柄入會の絶好機會にして

▲四大特典「入會金全免、料理必携進呈、三箇月以上前納者に家庭寶典進呈、一箇年前納者に婦女通鑑進呈」ありて利益なるが入會の上は家庭に居ながら早速初秋の料理より着手されて家内中の喝采を博しながら毎日空暇する餘暇を面白く利用し何時しか一人前の料理上手となり婦人としては第一の資格を得るに至り男子としても料理を職業となし得る迄に精通すべければ速に此機會を以て入會されんことを奬勵す尙ほ豫め講義錄の

▲内容見本と規則書を一見したく思ふ人は

▲東京市本郷區元町一丁目二、東京割烹講習會へ宛て照會せば直に無料にて郵送さるべし同會振替口座は東京一九四一〇番電話下谷五六九二番なり尙朝鮮京城に支局を設け勧誘員を派遣する由

精糖　粗糖　氷糖　角糖

Ⓢ

東京工場　大阪工場　大里工場　臺灣工場

東京市日本橋區蠣殼町三丁目

大日本製糖株式會社

夜具地
座布團地 其他數種
玉川紬

東京府下西多摩郡青梅町

青梅織物同業組合

電話青梅二〇番

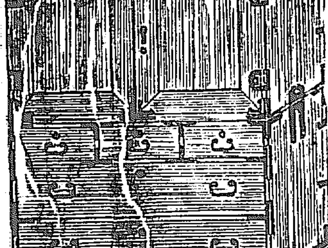
各博覽會共進會に於て名譽賞及金銀賞牌を受領す

朝鮮物産共進會參考品出品人

東京莫大小各種製造販賣業
東京市日本橋區横山町一丁目十八番地　清水彦三郎
東京市日本橋區本町二丁目十番地　堀川長兵衛
東京市日本橋區橘町四丁目二番地　栗山安平
東京市日本橋區橘町四丁目四番地　松岡文治郎
東京市日本橋區橘町二丁目七番地　山崎要吉
東京市日本橋區龜井町四番地　平野房吉
東京市日本橋區通鹽町十一番地　森鉞與
東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地　菅谷爲吉
東京市神田區裏神保町一番地　淺井榮太郎
東京府荏原郡大崎町上大崎三八七 株式會社岩井商店　白金莫大小製造所

朝鮮共進會出品

東京箪笥



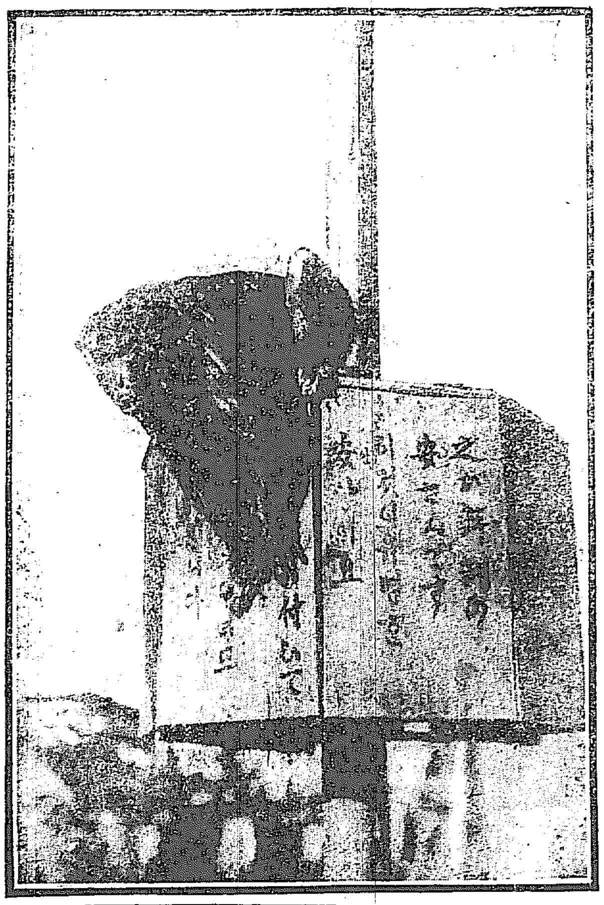
桑港萬國大博覽會に於銀牌受領
(箪笥目錄)郵劵二錢封入申越次第進呈
始政五年紀念として共進會開期中●本店に御注文有之候節は特に勉强仕べく候に付(カタローグ)御請求の上續々御注文被下度候

東京市日本橋區小傳馬町一
長谷川箪笥店

共進會で目に付く物
縄と叺で花嫁花聟—赤十字社員の働き振り

縄と叺で嫁入

第一號館東端の入口より歩を運び、猛虎や大熊、豹、狸等の剝製を右に見二十尺の農産塔下を過ぎ、農商工部出品の年中行事の繪と模型を一巡して進むこと數歩、右側の陳列棚の間に立てる縄、叺、莚等農家の副業品を以つて造つたアーチ形の門前に達するとそこには何時行つても驚歎の眼を見張つた内鮮人觀客の一團を見るこれぞ共進會農業部に評判高き「縄で嫁に遣り莚で嫁を貰ふ」と題する勸業模範場の出品である、入口なる格の門を入ると欄の中には等身大の鮮人々形二人、盛裝せる新郎と新婦が立つてゐる、その帯に耀くばかりの新裝は如何にも富貴の人の結婚を模せるもの、様に見受けられるが、實は水原の勸業模範場で豫ねて小作人どもの間に水原勵進組合といふものを組織させて農家の副業を獎勵し、毎夜縄を綯はしたり叺を編ましたりしてその收益を貯金をして冠婚葬祭の費用や不時の出來事に對する用意に當てさせることにしてゐた、その組合員の夜業貯金で購ひ得た衣裳である、その人形を中心として之れ等組合員の出品がある、結婚に關するものも衣裳の外に總ての調度が整つて居る、何れも夜業の縄や莚が生んだもので、ある、誰も知る如く朝鮮では上下貴賤の區別なく、冠婚葬祭には全力を盡して華美を誇り、贅澤の限りをしたものだ、爲めに貧者は結婚することが出來ずして終生チョンガーとして人の侮蔑に甘んじ、少しく産を有するものも爲めに財を傾け盡して破産の憂目を見る者も尠くなかつたのである、然るに勸業模範場の副業獎勵は一方その儀式を簡單ならしむる習慣を養ふと同時に其費用は夜業の勤勉に依つて得るに至り、彼等の幸福を增進せしむると共に懶惰の風習を去り、貯蓄の美風を養成することが出來たのである、即ち此陳列はその實際を之れ等小作人の出品に因つて證明したものである、然も之れを日々こゝに見た朝鮮人は何れも其美風に推服して歸つて行く、蓋しその感化は鮮少ならざるものがあらう。


曾說ざる家庭博の安さん

赤十字の働振り

共進會場思政殿の廊殿に設けられてゐる日本赤十字社朝鮮本部の救護所を訪うて開場以來の模様を訊く、同所には伊藤主任と共に醫員二名、看護婦が二名、看護人が一名都合五人で一通りの醫療器械藥品等を備へ入場者や職員の患者を診察したり治療したりしてゐる、廿四日までの數字を見ると二週間の間に百二十九名の患者が出て居る、その

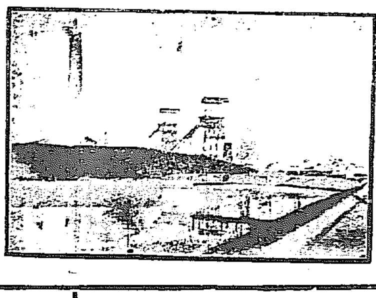
患者の多くは職員で女看守とか看守とかが大分を占めてゐて其數百十七名うち内地人が七十二名鮮人が四十五名、觀覽者の患者は三十名で内地人が十二名、鮮人が十八名であつた、病氣は所謂腹痛が主なるもので胃加答兒が廿六名、腸加答兒が十四名、寒胃が十五名、打撲傷が六名といふ割合だ、最も重態であつたといふのは

▲**曲馬師の娘が** 落馬して骨折で擔ぎ込れ總督府醫院に送つたのが只一人後は皆一回の診察治療で事濟みと爲つてゐる、晝間は午前九時から午後五時まで同所に詰めてゐて夜は迎秋門内の天幕で醫員一名と看護婦一名、看護人一名宛救護の任に當つてゐる、今まで最も忙しかつたのは廿日の十五名廿二日の十七名廿三日の十六名等で時間から云ふと正午から午後の二時三時頃までゞある夜は今日までに僅か六七名あつたのみだ、職員中の女看守や看守の患者の意外に多いのはその仕事が忙しいのと時間に暇が無い爲め**比較的病人も出るのだが**市中の醫者に治療を乞ふ暇が無いのもその原因を爲してゐるだらうとの事

▲**觀客の患者は** その數の割合に朝鮮人が少く内地人が多い、之れは内地人の方が衛生思想が發達してゐて少しの異狀にも友人や同伴者が心配して連れて來るからである、多くの人は一日を歡樂の裡に徜徉してゐる時に當つて不幸な之れ等患者の爲めに人知れず毎日忙しい仕事に携つてゐるこれ等醫員諸氏、看護婦諸孃の勞は大いに多とせねばならぬものである、同時に何時でも何處でも人出の多い催し物にはつき物の様に赤十字社がその救護所を設けての尊い仕事に從事する博愛的事業に對しては大いに感謝せねばならぬ

撫順炭の活躍
平壤平松氏の奮闘振り

西鮮の經濟的中心地點たる平壤は近來諸般の施設と商工業の發達と相待ち京城に次ぐの大都會たる面目を保つてゐる、今度の共進會に依り内地の諸名士の往來漸く頻繁を加へ來り土地の遺利を啓發さるゝ量も甚だ多からう、平壤本町通りの石炭商平松亮三氏は日露戰役當時大阪貿易界の巨頭庵江商店の鎭南浦支店にあり親しく軍需品を扱ひ詳に平南の將來實業上の推移を洞察し地の利に鑑みる處から各種


撫順の大山坑

▲**工業の原動力と** なる石炭の販賣を以て終始せんとの大方針を定め其後主家を辭し平壤に獨立の店舗を經營したのは大正元年であつた、當時平南は勿論朝鮮には筑豊の内地炭獨占で其跋扈甚しく燃料は是等商人のなすがまゝなるを見慨然起つて茲に研究を積み撫順炭の需要廣汎にして將來發展の餘地充分なるを認め直ちに特約を開始し爾來多くの勁敵と惡戰苦鬪數年に及び現今數萬噸の賣上げを易々樂々となし得る盛運を贏ち得たのだ、氏は從來石炭商の弊風を打破すべく極力之れが刷新に努め率先して其の

▲**品質の統一正確** 斤量を經とし價格に於て申分なき低廉を偉とし顧客に對しては能く迅速に配給し正直熱心に勉强せる結果一般の認むる所となり石炭と云へば撫順炭の平松氏を連想させる位人口に膾炙してゐるから其の信用大したものだ

▲**東洋無比の炭坑** 一日採炭量八千噸に上る撫順の設備と炭坑の狀態に就ては屢々世に紹介せられて喋說の限りでないが日露戰後二十億圓の償金と一撫順と匹敵する論議喧かつたのを追懷しても如何に其量豐富なるかを證される、平松氏が慧敏犀利な目を之に注ぎ西鮮炭商界に頭角を顯さんと心血を傾倒するも偶然でないのだ

祝共進會開催
群山港本町
不二興業株式會社
群山支店
電話長四十七番
電話百二十一番

祝共進會開催
朝鮮群山港本町通
尼崎汽船部
群山出張店
電話長二〇五番
電略ア又はアマ
▲共進開期中仁川行汽船運賃大割引仕候▼

祝共進會開催
大典記念植樹
○両取三角形籾摺器
○プロペラー式特許唐箕
○改良籾摺臼
○各種農器具
各種苗木大提供
支店　忠清南道江景
出張所　江原道平康
群山府
鮮南勸業株式會社
長電話三三〇番
振替京城二二九六番

祝共進會開催、家庭博成功
朝鮮銀行平壤支店
長電話一一番
電話七四〇番

何所へ往つても
ツル香水が
先づかほる

祝共進會開催
鎭南浦郵便局長
成田勝虎

祝共進會開催
平壤黄金町
精米　叺
井上精米所
電話七四四番
電略（井）

祝共進會開催
平壤本町
平壤精米所
電話二二二番

祝共進會開催
鎭南浦稅關長
野手耐

祝共進會開催
平壤本町
內科小兒科花柳病科
稻葉病院
電話七〇九番

祝家庭博開催

祝共進會開催
群山港錦町
農事經營　果樹栽培　金融部
平野嘉七郎
電話二三二番

祝共進會開催
群山府
群山電氣株式會社
電話一五二番

祝共進會開催
群山府
十八銀行群山支店
電話一一八番

祝共進會開催
平壤大和町
株式會社　平壤魚市場
電話三三一番

祝共進會開催
圖書雜誌　文房具　理化學機械　博物標本　體育運動器具　教育用品一式
和洋紙　和洋帳簿　内外雜貨類　國定教科書販賣所　朝鮮總督府編纂教科書販賣所
朝鮮平壤府南門町
脇坂文鮮堂
電話二四番
振替京城九二二番
支店　平壤大和町　電話二四三番

共進會と仁丹

仁丹活用

旅行する時仁丹
頭痛目眩に仁丹
人込雜沓に仁丹
食傷腹痛に仁丹
吐き下しに仁丹
酒の悪醉に仁丹
食後の使用に仁丹

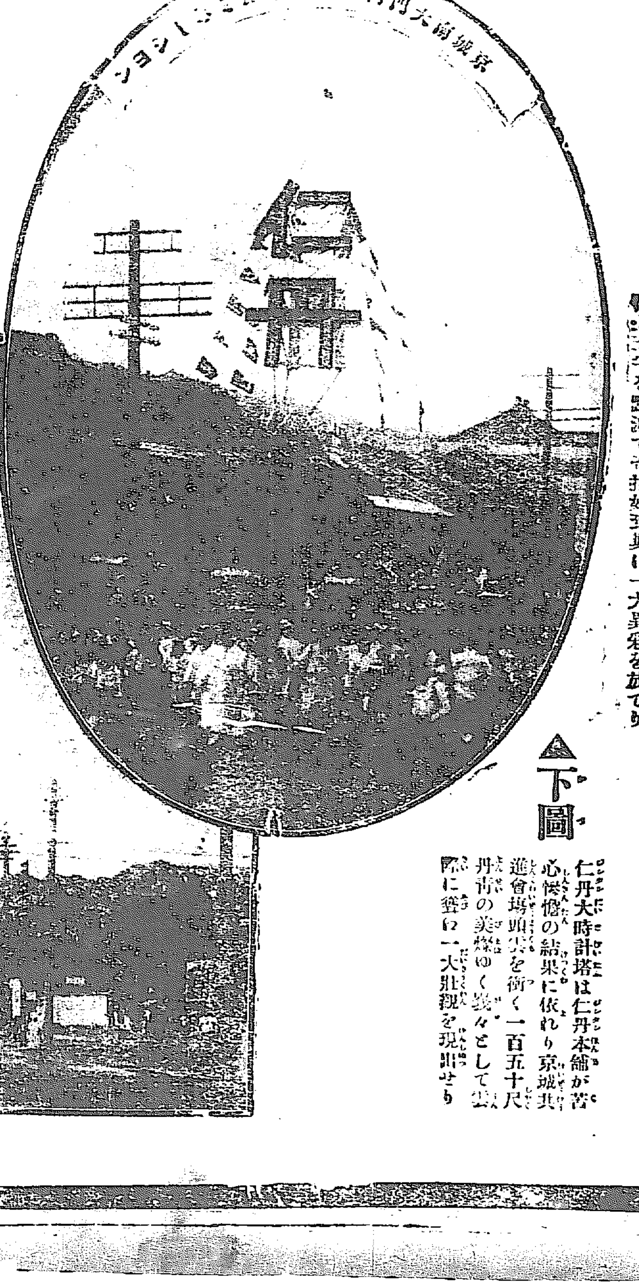
▲京城共進會と宏壯美觀の仁丹大時計塔

巋然たる外廓の宏精華を放てる輪奐の美は眞に京城南大門街頭光芒陸離たる仁丹イルミネーションと相俟ちて京城共進會に於ける一大偉觀たり

●共進會へ御出掛の方は一粒爽快の

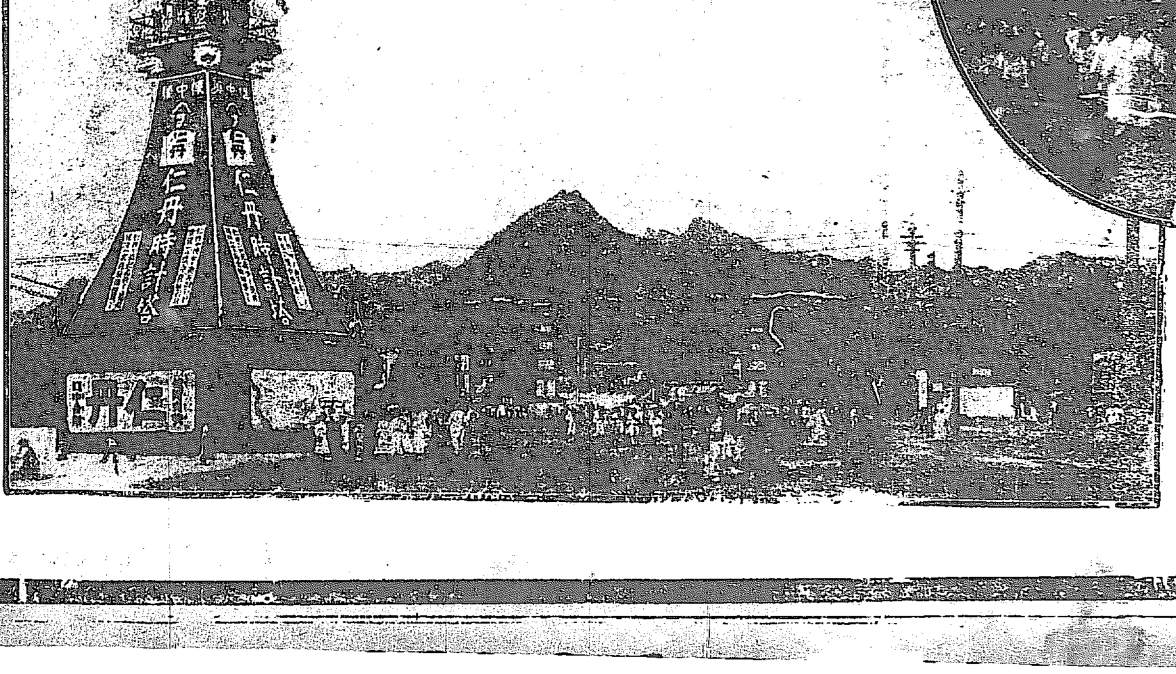
仁丹をキット御携帯遊ばせ!!

京城南大門街の仁丹イルミネーション



▲上圖 京城南大門街の仁丹イルミネーションは連夜紅白の仁丹文字を點滅す奇技妙致眞に一大異彩を放てり

京城共進會正門前の仁丹時計塔



▲下圖 仁丹大時計塔は仁丹本舗が苦心慘憺の結果に依れり京城共進會場頭を衝く一百五十尺丹青の美燦々として雲際に聳ゆ一大壯觀を現出せり

金言

一身の進退方向を他に依頼せずして自ら思慮判斷するの智力を具へよ 「福澤諭吉」